

平成21年度  
(2009)

**授 業 概 要**  
(授業シラバス)

徳島大学 全学共通教育



# 目次

<b>第1章 前期</b>	<b>1</b>
1) 【大学入門科目群】 (Category of Introductory Seminars on University Education) . . . . .	3
1.1 《大学入門講座》 (Introduction to University Education) . . . . .	4
2) 【教養科目群】 (Category of General Education Subjects) . . . . .	7
2.1 《歴史と文化》 (History and Culture) . . . . .	8
2.2 《人間と生命》 (Humanity and Life) . . . . .	10
2.3 《生活と社会》 (Living and Society) . . . . .	11
2.4 《自然と技術》 (Science and Technology) . . . . .	12
3) 【社会性形成科目群】 (Category of Social Communication Subjects) . . . . .	13
3.1 《ウェルネス総合演習》 (Integrated Seminar on Wellness) . . . . .	14
4) 【基盤形成科目群】 (Category of Formative Skills Subjects) . . . . .	15
4.1 《英語》 (English) . . . . .	16
4.2 《ドイツ語》 (German) . . . . .	18
4.3 《情報科学》 (Information Science) . . . . .	19
5) 【基礎科目群】 (Category of Basic Science Subjects) . . . . .	21
5.1 《基礎数学》 (Basic Mathematics) . . . . .	22
5.2 《基礎物理学》 (Basic Physics) . . . . .	23
6) 【学部が開放する授業題目】 (Subjects offered by Faculties) . . . . .	25
<b>第2章 後期</b>	<b>27</b>
1) 【教養科目群】 (Category of General Education Subjects) . . . . .	29
1.1 《人間と生命》 (Humanity and Life) . . . . .	30
1.2 《生活と社会》 (Living and Society) . . . . .	31
1.3 《自然と技術》 (Science and Technology) . . . . .	32
2) 【社会性形成科目群】 (Category of Social Communication Subjects) . . . . .	33
2.1 《共創型学習》 (Creativity Development) . . . . .	34
3) 【基盤形成科目群】 (Category of Formative Skills Subjects) . . . . .	35
3.1 《英語》 (English) . . . . .	36
3.2 《ドイツ語》 (German) . . . . .	38
4) 【基礎科目群】 (Category of Basic Science Subjects) . . . . .	39
4.1 《基礎数学》 (Basic Mathematics) . . . . .	40
5) 【学部が開放する授業題目】 (Subjects offered by Faculties) . . . . .	41



# 第1章

## 前期



# 1) 【大学入門科目群】 (Category of Introductory Seminars on University Education)

## 大学入門講座

大学入門講座 (工・建設)(夜) ... (夜間主 ( 建 )) / 鎌田・佐藤 / 前期 集中 .....	4
大学入門講座 (工・機械)(夜) ... (夜間主 ( 機 )) / 教務委員会委員・学生委員会委員 / 前期 集中 .....	4
大学入門講座 (工・化学)(夜) ... (夜間主 ( 化 )) / 教務委員会委員・学生委員会委員 / 前期 集中 .....	4
大学入門講座 (工・生物)(夜) ... (夜間主 ( 生 )) / 教務委員会委員 / 前期 集中 .....	5
大学入門講座 (工・電気電子)(夜) ... (夜間主 ( 電 )) / 教務委員会委員・学生委員会委員 / 前期 集中 .....	5
大学入門講座 (工・知能)(夜) ... (夜間主 ( 知 )) / 教務委員会委員・学生委員会委員 / 前期 集中 .....	5

## 1.1 《大学入門講座》(Introduction to University Education)

### 大学入門講座 (Introduction to University Education)

#### 大学入門講座(工・建設)(夜) (夜間主(建))

#### Introduction to University Education

鎌田 磨人・教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

佐藤 弘美・助教/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

1 単位 前期 集中

(平成 19 年度以前の授業科目:『大学入門講座』)

(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『総合科目』)

**【授業の目的】** 大学で学ぶ意味は何でしょうか。これを自ら探るには、大学生活全体を通じて自律的な学びの姿勢を確立していく必要があります。今後の大学での学びを確かなものにするために、高校までと異なった学習の姿勢や方法の概略、自律的な大学生活を送る方策の概略を把握することを目的とします。

**【授業の概要】** この大学入門講座は、学部学科毎に授業が行われます。大学での学びを確かなものにするために、高校までとは異なって、「教わる授業から自ら学ぶ授業」という学習の姿勢や方法を身につけられるよう各学部学科に応じて構成されています。各講義は、そのテーマに応じて適切な授業方法で行われます。大学では一般に講義形式の授業が主になりますが、この講座では、講義を聞き、その主題についてノートを取り、グループで討論をしたり、その経過・まとめを口頭で報告したり、また文章でレポートすることなどの、学習方法も取り入れて実践されます。それらを通じて、「自ら学ぶ」姿勢を身につける準備をして、今日、大学生が社会から求められている「知的技法」の一端を身につけることを目指します。

**【キーワード】** 導入授業、大学入門、オリエンテーション

**【関連科目】** 『学びの技』(1.0)

**【到達目標】** 以下「【授業の計画】」のテーマについて、その概要や問題点を理解し、友人たちや教員と討論ができ、文章としてまとめられること、また皆の前で報告発表ができること。

**【授業の計画】** 1. 心と体の健康 保健管理センターの紹介・酒タバコの弊害と効用・健康管理法などについて説明する。 2. 読書のすすめ 対話の重要性 コミュニケーションの方法を概説し、自分の意見を構築することの大切さ、対話能力が重要であることを認識する。 3. 学びのしくみ・学習支援室 学びのしくみについて説明し、自己学習の重要性を理解する。さらに学習支援室の上手な利用方法を紹介します。4年間の「学びの設計」を考える基盤を作る。 4. 施設見学 常三島キャンパスの主要な施設を実際にまわり、利用方法等を紹介します。 5. 建設工学科のおいとちと教育目標 本学の建設工学科の創立から現在までの歴史を紹介し、本学科の教育目標を建設技術者に求められる資質と関連づけて説明する。 6. 建設関連施設の見学 建設関連施設を1、2箇所見学し、ものづくりの流れや、大学で習得すべき事項等について説明する。 7. 防災センターの見学 徳島県立防災センターを見学し、防災への取り組み事例等を介して、大学で習得すべき事項等について説明する。 8. 自分の将来像と大学生活 グループで各自の将来像や夢について語り、夢を実現するために如何に大学で学ぶかについて討議し、検討結果を発表する。

**【教科書】** 工学部『「学びの技」はじめの一步』、その他必要に応じてプリントを配布する。

**【成績評価の方法】** 授業への参加の姿勢と到達目標の達成度により評価し、単位を認定する。

**【再試験の有無】** 無(欠席等の場合は、課題のレポートを課す)

**【授業者のメッセージ】** 大学で何を何故学ぶのか、目標をたて大学生活を過ごしましょう。

**【WEB 頁】** <http://ksys.ce.tokushima-u.ac.jp/mizuguchi/>

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181105>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 佐藤(建設棟A511, 088-656-7324, sato@ce.tokushima-u.ac.jp)

### 大学入門講座 (Introduction to University Education)

#### 大学入門講座(工・機械)(夜) (夜間主(機))

#### Introduction to University Education

教務委員会委員/工学部 機械工学科, 学生委員会委員/工学部 機械工学科

1 単位 前期 集中

(平成 19 年度以前の授業科目:『大学入門講座』)

(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『総合科目』)

**【授業の目的】** 大学で学ぶ意味は何でしょうか。これを自ら探るには、大学生活全体を通じて自律的な学びの姿勢を確立していく必要があります。今後の大学での学びを確かなものにするために、高校までと異なった学習の姿勢や方法の概略、自律的な大学生活を送る方策の概略を把握することを目的とします。

**【授業の概要】** この大学入門講座は、大学での学びを確かなものにするために、高校までとは異なって、「教わる授業から自ら学ぶ授業」という

学習の姿勢や方法を身につけられるよう構成されています。各講義は、そのテーマに応じて適切な授業方法で行われます。大学では一般に講義形式の授業が主になりますが、この講座では、講義を聞き、その主題についてノートを取り、グループで討論をしたり、その経過・まとめを口頭で報告したり、また文章でレポートすることなどの、学習方法も取り入れて実践されます。それらを通じて、「自ら学ぶ」姿勢を身につける準備をして、今日、大学生が社会から求められている「知的技法」の一端を身につけることを目指します。

**【キーワード】** 機械工学科、履修計画、大学生生活

**【到達目標】** 以下「【授業の計画】」のテーマについて、その概要や問題点を理解し、友人たちや教員と討論ができ、文章としてまとめられること、また皆の前で報告発表ができること。

**【授業の計画】** 1. 健康的に学生生活を送るために 保健管理センターの紹介・酒タバコの弊害と効用・生活習慣病を予防するための健康管理法とその重要性・及び注意が必要な感染症について説明する。 2. 施設見学 常三島キャンパスの主要な施設を実際にまわり、利用方法などを紹介する。 3. 附属図書館からのオリエンテーション 4. 学びの相談について 5. 学生委員からの諸注意 6. 教務委員会からの諸注意 7. 履修計画の作成 1 8. 履修計画の作成 2 9. 履修登録 10. 読書のすすめ 英語のすすめ コミュニケーションのために、自分の意見を構築することの大切さ、さらに国際社会で活躍するために英語能力が重要であることを認識する。 11. 学びと倫理 人間また技術者として、何を身につけなければならないか、その基本を理解する。 12. レポートの書き方 その意味と書き方について説明する。またプレゼンテーションの重要性を説く。 13. 機械工学の生い立ち、教育理念・教育目標・教育方針を説明し、これから4年間の「学びの設計」を考える基盤を作る。 14. 進路の探し方 これからの生き方、進学、就職等の状況と心構えを説明する。 15. パソコンを使う 情報を収集・発信するためのテクニックを紹介する。

**【教科書】** 工学部『「学びの技」はじめの一步』、その他必要に応じてプリントを配布する。

**【成績評価の方法】** 授業への参加の姿勢と到達目標の達成度により評価し、単位を認定する。

**【再試験の有無】** ( )

**【授業者のメッセージ】** 大学で何を何故学ぶのか、目標をたて大学生活を過ごしましょう。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181107>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 高木(M620,088-656-7359,takagi@me.tokushima-u.ac.jp)

**【備考】** 機械工学科・教務委員

### 大学入門講座 (Introduction to University Education)

#### 大学入門講座(工・化学)(夜)

(夜間主(化))

#### Introduction to University Education

教務委員会委員/工学部 化学応用工学科

学生委員会委員/工学部 化学応用工学科

1 単位 前期 集中

(平成 19 年度以前の授業科目:『大学入門講座』)

(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『総合科目』)

**【授業の目的】** 大学で学ぶ意味は何でしょうか。これを自ら探るには、大学生活全体を通じて自律的な学びの姿勢を確立していく必要があります。今後の大学での学びを確かなものにするために、高校までと異なった学習の姿勢や方法の概略、自律的な大学生活を送る方策の概略を把握することを目的とします。

**【授業の概要】** 大学で学ぶために必要な術を、化学応用工学科の教員を始め、徳島大学の教員が各方面から講述します。

**【キーワード】** 学生生活、学習、コミュニケーション

**【到達目標】** 大学での学びに関する全体像が把握できること。

**【授業の計画】** 1. 健康的に学生生活を送るために 保健管理センターの紹介・酒タバコの弊害と効用・健康管理法などについて説明する。 2. 大学で学ぶとはどういうことか、化学応用工学科で学ぶとはどういうことかについて考え、学ぶために必要な事柄を紹介する。 3. 情報を検索する方法として、基本的なインターネットの利用方法を紹介します。 4. 施設見学 常三島キャンパスの主要な施設を実際にまわり、利用方法などを紹介します。 5. 読書のすすめ コミュニケーションの方法を概説し、自分の意見を構築することの大切さ、対話能力が重要であることを認識する。 6. 学びのしくみについて説明し、自己学習の重要性を理解する。さらに学習支援室の上手な利用方法を紹介します。これからの4年間の「学びの設計」を考える基盤を作る。 7. ものづくりのすすめ(創成学習開発センターと創成科目を紹介する) 8. コミュニケーションの取り方の向上を図り、学生と学生、学生と教員の相互理解を深める。

**【教科書】** 『「学びの技」はじめの一步』

**【成績評価の方法】** 授業への参加の姿勢と到達目標の達成度により評価し、単位を認定する。

**【再試験の有無】** 無(欠席等の場合は、課題のレポートを課す)



【受講者のメッセージ】 大学で何を何故学ぶのか、目標をたて大学生生活を通り越しよう

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181103>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 安澤 (化 512, 088-656-7421, mik@chem.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: オフィスアワー: 月曜日15:00~17:00 工学部化学・生物棟312号室)

⇒ 鈴木 (化 514, 088-656-7415, suzuki@chem.tokushima-u.ac.jp)

## 大学入門講座 (Introduction to University Education)

### 大学入門講座 (工・生物)(夜)

(夜間主 (生))

#### Introduction to University Education

教務委員会委員/工学部 生物工学科  
1 単位 前期 集中

(平成 19 年度以前の授業科目: 『大学入門講座』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

【授業の目的】 大学での学習・生活は高校までとは異なり、積極的に取り組む自己責任が要求される。自己責任の達成には、入学から卒業までの間に生物工学科で何を学び (学習目標)、学んだことを将来どのように生かすか (将来像) をしっかりと持つことが必要である。これからの勉学や健康的な生活を送るうえで、基本的に重要な事柄を学び、大学での学習と生活の方法、学習目標と将来像などについて全体的に理解することを目的とする。

【授業の概要】 授業では、履修の手引 (講義シラバス)、学生生活の手引、学びの技はじめの一步をテキストとして使い、教員の経験を織りまぜながら、生物工学科の教育目標、カリキュラム、学習方法、成績評価、大学生に要求される能力、健康的な学生生活、また卒業後の進路について説明するとともに、討論を通じて学生自身の大学での学習目標や自分の将来像などについて考える。

【到達目標】 大学における健康で有意義な生活を達成するための学び方について理解し、将来について考える。

【授業の計画】 1. 大学生とは? 生物工学科とは? 大学院とは? 教員や先輩の対談を含めて学習する。 2. 生物工学科の教育目標とカリキュラムについて学習する。 3. 全学共通科目と専門科目、単位制、Web 登録、講義ノートのとり方、レポートのまとめ方、評価方法、ポートフォリオの作り方などについて学習する。 4. 施設見学 常三島キャンパスの主要な施設を実際にまわり、利用方法などを学習する。 5. 学びのしくみ・学習支援室の紹介、教育の理念・目標や教育方針、これから 4 年間の「学びの設計」を考える基盤を作る。 6. 保健管理センターの紹介・酒タバコの弊害と効用、心と体の健康管理法とその重要性、及び注意が必要な感染症について学習する。 7. 読書の重要性、またコミュニケーションのために自分の意見を構築して発表することの大切さ、さらに国際社会で活躍するために英語能力の重要性について認識する。 8. 大学生活における目標と自分の将来像について考える。

【教科書】 「学びの技」はじめの一步 徳島大学工学部導入教育テキスト、平成 18 年度「履修の手引」講義概要 (シラバス)

【成績評価の方法】 到達目標の達成度をレポート、プレゼンテーションによって評価する。

【再試験の有無】 無

【受講者のメッセージ】 何のため何をどのように学ぶのか考え、有意義な大学生活を送ろう。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181109>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 辻 (化生棟 710, 088-656-7526, tsuji@bio.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 学科長)

## 大学入門講座 (Introduction to University Education)

### 大学入門講座 (工・電気電子)(夜)

(夜間主 (電))

#### Introduction to University Education

教務委員会委員/工学部 電気電子工学科  
学生委員会委員/工学部 電気電子工学科  
1 単位 前期 集中

(平成 19 年度以前の授業科目: 『大学入門講座』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

【授業の目的】 大学で学ぶ意味は何でしょうか、これを自ら探るには、大学生活全体を通じて自律的な学びの姿勢を確立していく必要があります。今後の大学での学びを確かなものにするために、高校までと異なった学習の姿勢や方法の概略、自律的な大学生活を送る方策の概略を把握することを目的とします。

【授業の概要】 大学入門講座は、大学での学びを確かなものにするために、高校までとは異なって、「教わる授業から自ら学ぶ授業」という学習の姿勢や方法を身につけられるよう構成されています。電気電子工学科の紹介をはじめ、国際化も視野に入れた各自の将来像を描き、それに向かうための目標について考えます。また、充実した学生生活を

送るための種々の情報を得出し、それらを通じて、「自ら学び」「自ら考える」姿勢が身につくことを目指します。

【到達目標】 大学での学びのしくみを理解し、何をなぜ学ぶかを知り、学び方についての知識、技術を身につけること。

【授業の計画】 1. 健康的に学生生活を送るために保健管理センターの紹介、酒タバコの弊害と効用・健康管理法などについて説明する。 2. 読書のすすめ・コミュニケーションの方法を概説し、自分の意見を構築することの大切さ、対話能力が重要であることを認識する。 3. 学びのしくみについて説明し、自己学習の重要性を理解する。さらに、学習支援室の上手な利用方法を紹介します。4 年間の「学びの設計」を考える基盤を作る。 4. 電気電子工学科とは: 電気電子工学科の紹介、カリキュラムの概要および教育目標との関係を理解する。 5. 電気電子技術者としての将来像および各自の学習目標について考え、自分と社会の将来像を描いてみる。 6. 全学共通教育の履修・学習方法: 全学共通教育の意義・目的、単位とは何か等を理解し、履修・学習方法を考え、履修計画を作成する。 7. 専門教育科目の履修・学習方法: 各学年での専門教育学習の意味と学習方法を説明し、大学院を含めた 6 年間の一環教育としての履修・学習方法を考える。 8. 学生生活の道しるべ 有意義な学生生活を送るための情報を活用する。 9. 施設見学: 常三島キャンパスの主要な施設を実際にまわり、利用方法を紹介します。

【教科書】 工学部『「学びの技」はじめの一步』、『履修の手引き』、『学生生活の手引き』、その他必要に応じてプリントを配布する。

【成績評価の方法】 授業への参加の姿勢と到達目標の達成度により評価し、単位を認定する。

【再試験の有無】 無 (欠席等の場合は、課題のレポートを課す)

【受講者のメッセージ】 大学で何を何故学ぶのか、目標をたて大学生生活を通り越しよう。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181113>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 教務委員会委員

⇒ 学生委員会委員

⇒ 電気電子工学科 1 年クラス担任

## 大学入門講座 (Introduction to University Education)

### 大学入門講座 (工・知能)(夜)

(夜間主 (知))

#### Introduction to University Education

教務委員会委員/工学部 知能情報工学科  
学生委員会委員/工学部 知能情報工学科  
1 単位 前期 集中

(平成 19 年度以前の授業科目: 『大学入門講座』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

【授業の目的】 大学では、高校までとは異なった、学ぶ姿勢が必要である。これからの学習において重要となる様々なことについてその全体像を把握し、深く学ぶために必要な事柄を理解してもらうことを目的とする。

【授業の概要】 大学における授業の形態、学び方、発表技術、および、レポートの作成技術について説明する。

【キーワード】 大学入学、学生生活、履修登録

【到達目標】 大学で何をなぜ学ぶかを知り、その学び方についての知識、技術を身につけること。

【授業の計画】 1. 施設見学 常三島キャンパスの主要な施設を実際にまわり、利用方法を紹介します。 2. 健康的に学生生活を送るために保健管理センターの紹介・酒タバコの弊害と効用・生活習慣病を予防するための健康管理法とその重要性・及び注意が必要な感染症について説明する。 3. 読書のすすめ・英語のすすめ コミュニケーションのために、自分の意見を構築することの大切さ、さらに国際社会で活躍するために英語能力が重要であることを認識する。 4. 学びのしくみ・学習支援室 教育の理念・目標や教育方針、そして学習支援室の上手な利用方法を紹介します。これから 4 年間の「学びの設計」を考える基盤を作る。 5. スライドを作成して効果的に発表するためのプレゼンテーション・スキルを学ぶ。 6. PowerPoint を用いたスライドの作成法を学ぶ。 7. レポートを分りやすくまとめるためのテクニカルライティング・スキルを学ぶ。 8. Latex を用いたレポートの作成法を学ぶ。 9. 教員と大学院学生との小グループ討論 1. 大学で大事なことは何か? 10. 教員と大学院学生との小グループ討論 2. 学習及び学生生活への指導、大学生活の上手な過ごし方。 11. 教員と大学院学生との小グループ討論 3. 4 年間のマイルストーン、講義概要・創成科目の説明、就職・進路。 12. 履修方法の説明・指導、時間割の組み方。 13. 履修登録システムのガイダンス。 14. Web 履修登録 1。 15. Web 履修登録 2。 16. 質疑応答。

【教科書】

◇ 履修の手引き、「学びの技」はじめの一步、学生生活の手引き

◇ 配布するプリント

【成績評価の方法】 授業への参加姿勢とレポートにより評価し、単位を認定する。

【再試験の有無】 無

【受講者のメッセージ】 新入生は必ず受講すること。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181111>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

全学共通教育 (2009) 〉 前期・【大学入門科目群】・《大学入門講座》

- ⇒ 教務委員会委員 (オフィスアワー: 学科に掲示してある「教職員名簿」を参照)
- ⇒ 学生委員会委員 (オフィスアワー: 学科に掲示してある「教職員名簿」を参照)

## 2) 【教養科目群】 (Category of General Education Subjects)

### 歴史と文化

20世紀前半の中国 ... (夜間主 (夜間主))/荒武/前期 月 13・14.....	8
日本語力をみがこう ... (夜間主 (夜間主))/仙波/前期 月 13・14.....	8
異人たちとの交流 ... (夜間主 (夜間主))/有馬/前期 月 13・14.....	8
日本図の歴史 ... (夜間主 (夜間主))/平井/前期 月 13・14.....	8
日本中近世文学 I ... (夜間主 (夜間主))/原水/前期 木 11・12.....	9
絵画表現と技法の基礎 ... (夜間主 (夜間主))/平木/前期 木 11・12.....	9

### 人間と生命

心の科学 ... (夜間主 (夜間主))/佐野/前期 木 11・12.....	10
健康の科学 ... (夜間主 (夜間主))/金丸/前期 木 11・12.....	10

### 生活と社会

現代社会と法 ... (夜間主 (夜間主))/上原/前期 木 11・12.....	11
市民と政治 ... (夜間主 (夜間主))/栗栖/前期 木 11・12.....	11

### 自然と技術

相対論入門 ... (夜間主 (夜間主))/中山/前期 木 11・12.....	12
現代の化学と物質 ... (夜間主 (夜間主))/寺尾/前期 木 11・12.....	12

## 2.1 《歴史と文化》 (History and Culture)

### 歴史と文化 (History and Culture)

20 世紀前半の中国  
20th Century China I

(夜間主 (夜間主))  
荒武 達朗 准教授

2 単位 前期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『外国史』)

**【授業の目的】** 本授業では 20 世紀前半の中国史、帝政の崩壊から中華人民共和国成立までを講義する。歴史事項の暗記につとめるのではなく、個々の歴史事項が歴史的な文脈の中でどういう意味を持っているのかを「考察」していきたい。

**【授業の概要】** 下の授業の計画を見よ。

**【到達目標】** 我々にとっても極めて重要な中国近現代史のアウトラインを理解する。

**【授業の計画】** 1. 以下の項目の順番に沿って授業を進める。 2. い 斜陽の大清帝国:西方の衝撃(ウエスタンインパクト) 3. ろ 帝国主義の時代 4. は 1910 年代 中華民国の成立と政局の混乱 5. に 五四運動へ:民族意識の高揚 6. ほ 1920 年代 中国国民党と中国共産党:統一への試行錯誤 7. へ 北伐の完成:中国の統一 南京国民政府の成立 8. と 毛沢東と蒋介石 二つのパーソナリティ 9. ち 1930 年代 日本の大陸侵略 1 10. り 1937 年-45 年 日本の大陸侵略 2 日中全面戦争 11. ん 1945-49 年 「惨勝」 国共内戦 中華人民共和国の成立 (共産党の勝利) 12. (一回の授業で語り尽くせぬ場合には、次の回へと順延していく。) 13. (テスト) 14. (総括授業)

**【教科書】** 教科書はプリントを準備する。参考書などは追って指示する。

**【成績評価の方法】** 小テスト (40 点)、期末試験・レポート (60 点)

**【再試験の有無】** 無

**【受講者のメッセージ】** 授業開始直後などに出席をとる。睡眠や内職は認めない。携帯電話の使用はもつてのほかである。遠慮無く叱り付けるので、心して授業に取り組まされたい。なお、近年ノートすらもとらない学生がいるが、このような態度で単位を得ることは出来ない。例年、登録者の 3 割は単位を取得できない。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185516>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 荒武 (2312, 088-656-7148, aratake@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 授業直前が望ましいが、それ以外の時間帯を希望する場合はメールにてアポイントメントをとること。荒武研究室(総合科学部1号館3階)。)

**【備考】** 内容を変更する場合もある。その場合は掲示にて通知する。

### 歴史と文化 (History and Culture)

日本語力をみがこう

Brush up your Japanese

(夜間主 (夜間主))

仙波 光明 教授

2 単位 前期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『日本語学』)

**【授業の目的】** 現代の社会生活を送る上で、身につけておいた方がよいと思われる、「正しい」日本語についての知識を増やすと共に、適切な日本語とはどのようなものか、的確に判断できるようになるための勉強の仕方を身につける。

**【授業の概要】** 規範的な日本語のあり方を重視する立場から書かれた教科書を利用し、それに従いつつ、一方、別の見方についても必要に応じて話題にする。教科書に用意された問題を解くことをしながら、より深く検討してみたい。

**【キーワード】** 正しい日本語

**【到達目標】**

1. 社会生活に必要な日本語についての学び方を知る。
2. 規範的な (正しいと言われる) 日本語についての知識を身につける。
3. 敬語のしくみの基本を知り、適切に運用できるようになる。
4. 言語運用を支える日本語の文法について、必要な知識を身につける。
5. 語彙力、漢字力を養う方法を身につける。

**【授業の計画】** 1. 日本語の勉強を始める前に (教科書の第 1 日 ~ 第 2 日) 2. 尊敬語と謙譲語 (教科書:第 6 日 ~ 第 12 日) 3. 第三者が関わる場合の敬語など (教科書第 13 日 ~ 第 18 日) 4. 敬語についての整理 (教科書第 6 日 ~ 第 21 日) 5. 文法その 1(正しくないと言われる表現は、なぜ生まれたのか、教科書第 22 日 ~ 第 26 日から) 6. 文法その 2(悪文はなぜできてしまうのか、教科書第 27 日 ~ 第 31 日から) 7. 語彙力 (使える言葉の数を増やすには、教科書第 32 日 ~ 第 41 日) 8. 語彙力 (同義語・対義語・類義語を探すには、教科書第 42 日 ~ 第 48 日) 9. 日本語の表記 (仮名遣い・送り仮名、教科書第 49 日 ~ 第 54 日) 10. 日本語の運用 (意味を調べる。慣用句を覚えよう。教科書第 55 日 ~ 第 62 日) 11. 日本語の運用 (ことわざ・故事成語など、教科書第 63 日 ~ 第 68 日) 12. 漢字の大切さ (教育漢字は完璧ですか? 教科書第 69 日 ~ 第 75 日) 13. 漢字 (より高いレベルに達する

には、教科書第 76 日 ~ 第 83 日) 14. まとめと補足 (教科書第 84 日 ~ 第 90 日) 15. 試験 16. 補足・補充的なことから (内容未定)

**【教科書】** 川本信幹『みがこう、あなたの日本語力』東京書籍

**【参考書等】** 必要な、あるいは参考になるものを随時紹介する。

**【成績評価の方法】** 小テスト 50%、試験 50%を基準とする。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者のメッセージ】** シラバスの内容および授業の進捗について、ある程度の修正が行われるかもしれない。詳しくは、1 回目の授業で説明するが、教科書を利用するので、進捗・内容はその都度考慮しながら、適切に行う。また、必ず予習をしてもらいたい。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185527>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 仙波 (2319, 088-656-7117, senba@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 金曜日 17時~18時 総合科学部1号館中棟3階(2319))

### 歴史と文化 (History and Culture)

異人たちとの交流

Chinese Literature;Nonhuman Intercourse

(夜間主 (夜間主))

有馬 卓也 教授

2 単位 前期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『外国文学』)

**【授業の目的】** 本授業は中国の様々な資料 (文学・思想・歴史・画像) などを通して、古代中国の人々の文化や意識を、テーマ別に論じるものである。そして、文化を通して、人間理解へと至ることを目的とする。

**【授業の概要】** 異人 (死者・精霊・妖怪・悪霊など) からのメッセージをモチーフとした説話は数多く存在する。それはおよそ人間が知見し得ることのできない異界という場からのものだけに、作者の想像の結晶とも言えるが、そこには時代や地域の事情の反映が垣間見られる。つまり異界譚から、当時の異界思想を理解することがある程度可能であり、さらにそこから埋葬形式や副葬品などが持つ意味や、信仰・迷信・風習の存在意義なども理解し得るのである。異界譚を通して、中国古代文化を考えていく。

**【キーワード】** 妖怪, 鬼, 中国文化

**【到達目標】** 異人譚・異界譚を通して、古代中国を理解するとともに、古今を通じて変わることのない人間の基本的性情を理解する。

**【授業の計画】** 1. ガイダンス・別れのメッセージ 2. 死を告げる使者 (1) 3. 死を告げる使者 (2) 4. 異界譚 5. やさしき異人 6. 異人との交接 (1) 7. 異人との交接 (2) 8. 異人からの依頼 (1) 9. 異人からの依頼 (2) 10. かまど信仰・異人出生譚 11. 厄災をもたらす者ども (1) 12. 厄災をもたらす者ども (2) 13. 混乱の予兆としての異人 14. その他 15. 試験 16. 総括授業

**【教科書】** 毎回プリント (漢文) を配布する。参考書は随時提示する。

**【成績評価の方法】** 期末にテストを行う (漢文の読みや知識を問うような問題は出さない)。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者のメッセージ】** 授業中の私語厳禁。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185518>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 有馬 (088-656-7119, arima@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 随時)

### 歴史と文化 (History and Culture)

日本図の歴史

Pre-Modern Japanese Maps

(夜間主 (夜間主))

平井 松午 教授

2 単位 前期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『地理学』)

**【授業の目的】** 様々なスケールの「地域」を研究対象とする地理学にとって、「地域」に関する資料をどのように分析し解釈するかは、重要な研究手続となる。この授業では、古代から近代までの各時代ごとに描かれた各種の日本図を手がかりに、国土・世界に対する日本人の地理観の一端を紹介するとともに、日本図の変遷にみる科学的側面について歴史地理学的見地から考察していくことも目的としている。

**【授業の概要】** 授業では、古代から幕末・明治に至るまでの日本を描いた多様な古地図を、プリント、パソコンによるデジタルデータなどを用いて紹介する。取り上げるおもな古地図は、日本およびその周辺地域を題材としたもので、絵図の記載内容や画像表現から、絵図作成の目的や、そこに描かれている地域像・社会背景などについて解説する。

**【キーワード】** 地理学, 歴史地理学, 古地図, 地理情報システム

**【関連科目】** 『生活と社会/産業と交通』(0.5)

**【到達目標】** 絵図が作成されてきた時代ごとの社会背景と技術的発展過程の相互関係が理解できること。

**【授業の計画】** 1. 見取図と実測図 - 絵図と地図の違い - 2. 古代律令体制と国郡図 3. 最古の日本図「行基図」 - 中世の日本図 4. 「行基図」と「海山潮陸図」 - 近世初頭の日本図 5. 「五天竺図」と「世界図屏風」 - 日本人の世界観 6. 幕藩体制の確立と幕府撰国絵図 7. 近世阿波の国絵図 - 6 期の国絵図 - 8. 国絵図と日本図総図 9. 道中絵図と「改正日本輿地路程全図」 - 普及版日本図 - 10. 蘭学の発達と世界地理書の刊行 11. 紅毛流規矩術と実測分間絵図 12. 伊能忠敬の全国測量 13. 「大日本沿海輿地全図」とシーボルト事件 14. 間宮林蔵と北方図 15. 期末試験 16. 「日本図の歴史」授業のまとめ

**【教科書】**

- ◇ 教科書は使用せず、授業の際に資料プリントを配付する。なお、手近な参考図書としては次のものがある。
- ◇ 久武哲也・長谷川孝治編『改訂増補 地図と文化』地人書房、織田武雄『地図の歴史 日本篇』講談社新書

**【成績評価の方法】** 授業中に数回行う小テストや課題レポート、授業への取り組み状況などにもとづく平常点での評価と、期末試験結果による評価を併用して総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者のメッセージ】** 徳島大学附属図書館のホームページ (<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>) の「古地図・絵図 (貴重資料高精細デジタルアーカイブ)」には、図書館が所蔵する各種絵図 (国絵図、伊能図、世界図など) が掲載されているので、参照のこと。

**【WEB 頁】** <http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181328>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 平井 (2116, 088-656-7159, [hirai@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:hirai@ias.tokushima-u.ac.jp)) (オフィスアワー: 前期 月曜日 17:00-19:30 地理学 (平井) 研究室 (総合科学 1 号館中棟 1 階))

**歴史と文化 (History and Culture)**

**日本中近世文学 I**

(夜間主 (夜間主))

**Medieval Japanese Literature I**

原水 民樹 教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『歴史と文化』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『日本文学』)

**【授業の目的】** 日本文学史の中、文学が広い享受の裾野を持ちはじめたとされる中世を取り上げ、説話・軍記・小説・芸能などを中心に理解し、もって日本文学の特徴の一端を認識することを目的とする。

**【授業の概要】** 説話集の諸作とその文学性、中世知識人の思想・歴史観・文学観、中世小説の種々相と魅力、能楽の完成と狂言の歴史、等について講義する

**【キーワード】** 日本文学史、中世文学、散文

**【到達目標】** 日本中世散文学についての基本的理解が得られる。

**【授業の計画】** 1. 中世文学の概念について 2. 説話集について (宇治拾遺物語) 3. 説話集について (仏教説話集) 4. 説話集について (十訓抄・古今著聞集他) 5. 記物語について (保元物語・平治物語) 6. 軍記物語について (平家物語) 7. 軍記物語について (太平記) 8. 軍記物語について (義経記・曾我物語) 9. 中世小説 (公家物・庶民物) 10. 中世小説 (異類物・本地物) 11. 中世小説 (武人英雄物他) 12. 能の歴史 13. 能論など 14. 狂言 15. テスト 16. 総括

**【教科書】** 教科書 年表資料中世文学史 笠間書院 1300 円

**【成績評価の方法】** 学期末試験・毎回の質疑の内容・受講姿勢を総合して判断・評価する

**【再試験の有無】** 無

**【受講者のメッセージ】** 文学という存在を少しは真面目に考える学生、日本の歴史・古典文学に関心のある学生に受講してもらいたい。単位取得だけが目的の学生には退屈で辛いだけ。毎回、講義内容についての質疑を課す。教科書を購入しない学生の受講は認めない。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185524>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 原水 (1 棟 3 階中棟 2322, 088-656-7113, [haramizu@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:haramizu@ias.tokushima-u.ac.jp)) (オフィスアワー: 前期 水曜日 12時~13時 原水研究室 (総合科学部 1 号館 3 階), メール無し)

**歴史と文化 (History and Culture)**

**絵画表現と技法の基礎**

(夜間主 (夜間主))

**Painting: Expression and Basic Technique**

平木 美鶴 教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『歴史と文化』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『芸術』)

**【授業の目的】** 絵を描く基礎としてデッサンがある。デッサンは、物を観察し、紙に写し取る事であるが、描けそうで上手く描けないという経験は誰にでもあるのではないだろうか。三次元の世界を二次元である紙の上に形や空間を写す事は、高度な技を必要とするが、案外と難しく頭で考えるよりも無心となって描いた方が、上手く描ける場合も多

い。描く時のちょっとした頭の切り替えて飛躍的に描写する力を上げる事ができる。この授業では、絵が描けない状態から描ける状態に戻すための絵画基礎理論を実習をしながら学ぶ。

**【授業の概要】** 描かれる絵によって人間の発達段階を計る事ができるが、大人でありながら 9 歳レベルの壁を越えて、空間の描けるリアリズムに到達していない人も多い。発達と表現について理解した上で、描くための頭の切り替えを練習していく。最終的にどれだけ描写力を身に付ける事ができたか、絵で比較する。

**【キーワード】** 絵画、美術、芸術

**【関連科目】** 『歴史と文化/絵画表現と技法の応用』(0.5)

**【到達目標】** 描く基本を身に付ける。

**【授業の計画】** 1. 絵画表現と発達について 2. 画面構成の基礎論 3. 描くためのモードの切り替え 4. R モードの体感 5. 具体的形を意識しないで描く 6. 純粋輪郭画法 7. 修正輪郭画法 8. スペースの形の知覚 9. 遠近法 10. 顔を描く 11. 目測する 12. 目測とスペースを使う 13. 目測とスペースを使うの応用 14. 目測とスペースを使うの応用 15. 課題テスト 16. まとめ

**【教科書】**

- ◇ 教科書は、使用しない。適宜プリントを配布する。
- ◇ 参考書 「脳の右側で描け」ベティ・エドワード著、株式会社マール社発行
- ◇ 準備物として無線のノート、鉛筆 (HB か B) が必要である。

**【成績評価の方法】** 毎回の授業で描いた作品や授業感想等の提出を求める。レポートなどにより総合的に評価する。

**【再試験の有無】** なし

**【受講者のメッセージ】** 絵を描くのが苦手であっても絵画に興味のある意欲的な学生を望む。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185525>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 平木 (103, 088-656-7167, [hiraki@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:hiraki@ias.tokushima-u.ac.jp)) (オフィスアワー: 前期木曜日, 12時~13時, マルチメディア B 棟 1 階, 絵画表現研究室)

**【備考】** 教室の都合で受講者制限をする。

## 2.2 《人間と生命》 (Humanity and Life)

---

### 人間と生命 (Humanity and Life)

#### 心の科学

Psychology and Mind

(夜間主 (夜間主))

佐野 勝徳 教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『人間と生命』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『心理学』)

**【授業の目的】** 私たちは、見たり、聞いたり、考えたり、ときに悩み苦しむこともあります。そうした人間のこころのはたらきを扱うのが、心理学です。この授業は、「心の科学」に関する基礎知識を概説するとともに、工学系の学生に必要な心理学のテーマを選び、分かりやすく概説します。なお、「心の科学」という授業題目にしたのは、「脳とこころの関係」に重きを置きたいと考えたからです。

**【授業の概要】** 心理学の実験や調査・心理テストなどを取り入れながら、みなさんの発言を授業に取り入れ、「心の科学」についての理解を深めたいと思います。また、受講者数に応じて、ゼミナール形式の授業も取り入れたいと思います

**【キーワード】** 脳と心、人間工学、産業心理学

**【関連科目】** 『人間と生命/生命倫理学研究』(0.5)

**【到達目標】** 工学の分野に援用しうる心理学の基礎知識を身につける

**【授業の計画】** 1. 「心の科学」とは 2. 「心の科学」の対象と研究方法 3. 脳とこころ 4. 脳とこころ 5. 感覚と知覚 6. 感覚と知覚 7. 学習と記憶 8. 学習と記憶 9. 心とからだの成長と発達 10. 心理テストの実際 (1) 質問紙法 11. 心理テストの実際 (2) 投影法, その他 12. 自分探しの心理学 13. 自分探しの心理学 14. 心理学の工学分野への応用 15. 試験 16. 総括授業

**【教科書】** 甲村和三編「心理学—工学系学生が学ぶ人間行動論」, 培風館, 2006, 1700 円

**【成績評価の方法】** 講義中に実施する小テスト (数回) と学期末試験により評価する

**【再試験の有無】** 原則として実施しない

**【受講者へのメッセージ】** 皆さんが参加・発言できる授業にしたいです。積極的に授業を創り上げて下さい。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181256>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ sano@ias.tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー: 授業時間の前後各一時間)

---

### 人間と生命 (Humanity and Life)

#### 健康の科学

Health Science

(夜間主 (夜間主))

金丸 芳 准教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『人間と生命』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『生物学』)

**【授業の目的】** 心身の健康を維持する方法はたくさんあります。その中でも第一に必要な事は栄養状態を整えることです。そこで、心身を健康を維持するための栄養成分についての基礎的知識を持った上で、生体の機能を維持して、健康を保つことが大切です。そのために、ここでは栄養成分とその利用について大切な知識を習得することを目的とします。

**【授業の概要】** 健康のための栄養と生命の維持

**【キーワード】** 栄養, 栄養素, 細胞, 健康, 機能

**【到達目標】** 生体に栄養素が及ぼす影響を知り, 健康と栄養に対する正しい知識を習得

**【授業の計画】** 1. 栄養と栄養素 2. 食品 3. タンパク質 4. 脂質 5. 糖質 6. ビタミン 7. ミネラル 8. 細胞骨格 9. 代謝 10. エネルギー 11. 非栄養成分 12. 生体調節機能 13. 健康とその増進 14. 食生活 15. まとめ 16. テスト

**【成績評価の方法】** 期末のテストを中心に, 小テストや出席状況を加味して評価します。

**【再試験の有無】** 行いません。

**【受講者へのメッセージ】** 出席回数が規定に達していない場合はテストを受けられません。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185631>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 金丸 (088-656-7268, kanemaru@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 特に設定しません。研究室は総合科学部3号館3階北棟生命科学系です。)

## 2.3 《生活と社会》 (Living and Society)

### 生活と社会 (Living and Society)

現代社会と法

Modern Society and Law

(夜間主(夜間主))

上原 克之 准教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』)  
(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『法律学』)

【授業の目的】「社会あるところに法あり。」われわれの市民生活は法ぬきには考えることはできないほど、それを意識するかしないかはともかく、法に囲まれて生活している。法とは一定の、社会を見る視点であり、本授業では、法的思考を身につけることにより、現代社会をこれまでとは違った観点から見るができるようになることを目的とする。

【授業の概要】はじめに法とは何か、近代法とは何か、また、法が他の社会規範とどのように区別されるのかを明らかにしたうえで、われわれの社会生活に関係する財産法、家族法、刑法等についての具体的な問題を検討していく。

【キーワード】法、道徳、財産、家族、犯罪

【関連科目】『生活と社会/経済と法』(0.5)、『生活と社会/家族法の諸問題』(0.5)

【到達目標】

1. 法的な諸概念を正確に理解すること
2. 法的な論理を理解すること
3. 法的なものの見方を文章で説得的に展開することができること

【授業の計画】1. 法とは何か 1) 法の分類 2. 法とは何か 2) 近代法の観念 3. 法とは何か 3) 法と道徳 4. 財産と法 1) 法的人格 5. 財産と法 2) 財産権 物権 6. 財産と法 3) 財産権 債権 7. 財産と法 4) 財産権 物権と債権の関係 8. 家族と法 1) 家族法の推移 9. 家族と法 2) 婚姻をめぐる法 10. 家族と法 3) 離婚と法 11. 家族と法 4) 相続 12. 犯罪と法 1) 概説 13. 犯罪と法 2) 罪刑法定主義 14. 犯罪と法 3) 刑法の機能 15. 犯罪と法 4) 刑事訴訟手続 16. 犯罪と法 5) 刑事訴訟手続の諸問題

【教科書】

- ◇ 教科書は特に指定しないが、法令集(六法)を持参すること
- ◇ 参考書等については、適宜指示する

【成績評価の方法】筆記試験を中心とし、小テスト、授業への取り組みなど(20%)を総合的に評価する

【再試験の有無】無

【受講者のメッセージ】授業はあくまでも出発点であると考え、授業だけに満足せず自ら積極的に学ぶ姿勢を大切にしてください

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185542>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 上原 (088-656-7173, uehara@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 前期:水曜日 12時から13時 総合科学部1号館3階(行政法研究室))

### 生活と社会 (Living and Society)

市民と政治

Politics and Citizen

(夜間主(夜間主))

栗栖 聡 教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』)  
(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『政治学』)

【授業の目的】人間の社会がある限り、公共的な問題を何らかの形で解決すること、すなわち政治が必要となる。この授業においては、政治の基本的枠組み、基本的概念、近代国家や現代国家の基本原則等を理解することが目的である。

【授業の概要】そもそも政治とは何を意味するのかという問題から出発し、政治学の基本的概念を理解し、さらに近代国家の基本原則や現代国家のあり方について、自由民主主義国家、福祉国家、行政国家、大衆民主主義国家といった類型に即して考察する予定である。

【到達目標】政治現象を理解するための、市民としての基本的教養を身につける。

【授業の計画】1. 政治とは何か 2. 公共的事柄とは 3. 意思決定(その1) 4. 意思決定(その2) 5. 実施 6. 近代国家のあり方 7. 社会契約論(その1) 8. 社会契約論(その2) 9. 立憲主義(その1) 10. 立憲主義(その2) 11. 立憲主義(その3) 12. 福祉国家 13. 行政国家 14. 大衆民主主義国家 15. 試験 16. 総括授業

【教科書】授業中に指示する。

【成績評価の方法】論文形式による試験

【再試験の有無】無

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181073>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 栗栖 (2207-1, 0886567185, kurisu@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 水曜日 午後2時30分~4時)

## 2.4 《自然と技術》 (Science and Technology)

### 自然と技術 (Science and Technology)

#### 相対論入門

Introduction to Special Relativity

(夜間主 (夜間主))

中山信太郎 教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『物理学』)

**【授業の目的】** 科学としての物理的方法論について解説する。物理法則の認識と法則化を経て得られた自然観について理解することを目的とする。物理学の中でもなじみ深い力学を通して、その法則が確立される過程から相対論に至るまでを説明し、自然界を記述する時間と空間について考える。

**【授業の概要】** 自然界における光の振る舞いは、200 年もの間さまざまな検証に耐えてきたニュートンの自然観を根底から覆した。その 1 つは光速不変性である。これをもとにした自然観が相対論である。力学の諸法則を概説した後、相対論の原理である光速不変性が導かれた過程を解説する。力学の諸法則を相対論をもとにながめ、その描く自然観を説明する。

**【キーワード】** 光と観測、慣性系、ガリレイ変換、光速不変性、ローレンツ変換、質量とエネルギー

#### 【到達目標】

1. ニュートンの運動法則を式で表現できるようになる。
2. 相対論の原理である光速不変性について理解する。
3. ニュートンとアインシュタインの自然観の違いを理解する。

**【授業の計画】** 1. 相対論とは 2. 自然を見ること、自然界の広がり 3. 慣性と力の認識 4. ニュートンの自然観 5. 万有引力の法則 6. 光の性質 7. 光速の測定 8. 光速の不変性 9. アインシュタインの相対論 10. ローレンツ収縮 11. 空間・時間の相対性 12. 速度合成則 13. 質量の相対性 14. 質量とエネルギー 15. 期末試験 16. 総括授業

#### 【教科書】

- ◇ 教科書は使用しない。毎講時プリントを配布する。
- ◇ 参考書: アインシュタイン著 内山龍雄訳「相対性理論」岩波文庫、「理工系の基礎教育 物理学」大槻義彦著、学術図書出版社 (力学で用いた教科書)
- ◇ 松田・二間瀬著「なっとくする相対性理論」講談社

**【成績評価の方法】** 毎講時小テストを行う。レポートを 1 つ提出してもらう。小テストとレポートの中から試験問題を出す。以上を総合評価して成績を出す。

**【再試験の有無】** 小テストやレポートが一定水準に達していれば再試験を認めることがある。

**【受講者へのメッセージ】** 1 年前期に「力学」を履修していることが望ましい。講義ノートを準備する。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181017>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 中山 (1N02, 0886567236, nakayama@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 在室時いつでも質問可、水曜日 16:30~ 17:30 スタジオで質問に応じる)

### 自然と技術 (Science and Technology)

#### 現代の化学と物質

Modern Chemistry to Material World

(夜間主 (夜間主))

寺尾 博充 教授

2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『化学』)

**【授業の目的】** 大学で自然科学の諸分野を学ぶ上で、必要とされる化学の基礎的な内容について学習する。物質や化学的思考法の理解を通じて、豊かで質の高い現代生活を送るための教養を身につけることを目的とする。

**【授業の概要】** 原子・分子中の電子の微視的構造を理解し、それらが物質の巨視的性質にどの様に反映されるか学ぶ。化学反応を通じて物質はどのように相互に変換されるか学ぶ。熱力学の法則によって物質の状態はどのように定まるか学ぶ。

**【キーワード】** 原子の構造、化学結合、物質の三態、化学反応、熱力学

#### 【到達目標】

1. 原子や分子の構造に関する基礎的内容を理解している。
2. 化学結合と物質の性質の関係について理解している。
3. 化学反応の量的関係を理解している。
4. 酸と塩基、酸化と還元について理解している。
5. 初歩の熱力学の内容について理解している。

**【授業の計画】** 1. 原子の構造と原子軌道 2. 分子軌道と共有結合 3. 共有結合以外の結合 4. 化学反応と物質質量 5. 理想気体と実在気体 6. 固体の構造 7. 希薄溶液の性質 8. 中間試験 9. 反応速度 10. 酸

と塩基 11. 酸化と還元 12. エンタルピーと反応熱 13. エントロピーと熱力学第 2 法則 14. 化学平衡と自由エネルギー 15. 定期試験 16. 総括授業

**【教科書】** 芝原寛泰・斎藤正治 著 「< 大学への橋渡し > 一般化学 三共出版」 化学同人

**【成績評価の方法】** 定期試験 (50%)、中間試験 (30%) 及び授業への取り組み状況 (20%) により総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者へのメッセージ】** 遅刻、欠席をしないこと、予習、復習を行うこと、質問等はメールでも受け付けます。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185629>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 寺尾 (2N06, 088-656-7245, terao@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 月曜日 12時~ 13時 総合科学部3号館2階 2N06室)



### 3) 【社会性形成科目群】 (Category of Social Communication Subjects)

#### ウェルネス総合演習

ウェルネス総合演習 ... (夜間主 (夜間主))/長嶺/前期 月 11・12 .....	14
---	----

### 3.1 《ウェルネス総合演習》(Integrated Seminar on Wellness)

#### ウェルネス総合演習 (Integrated Seminar on Wellness)

ウェルネス総合演習 (夜間主(夜間主))

Integrated Seminar on Wellness

長積仁 准教授

2 単位 前期 月 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『ウェルネス総合演習』)  
(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『健康スポーツ実習』)

**【授業の目的】** 「スポーツ参加＝健康」という図式は、必ずしも成り立たない。このクラスでは、健康や人生、また生きがいという幅広い定義に対して、運動やスポーツがどのような役割を果たし、寄与できるのかということ、人間の生活とのかかわりから考え、正しく実践できる能力、すなわち“ウェルネス”という視点に立脚した価値観・態度・行動を身につけることを目的とする。同時に、“する・みる・ささえる・つくる”といった多様かつ多面的なスポーツに対する理解を深めるとともに、文化としてのスポーツを生涯を通じて実践するために必要な素養づくりと、豊かで生きがいのある人生を過ごすために必要な享受能力を、レジャースキルとライフスキルの二側面から習得することをめざす。

**【授業の概要】** 授業は、「講義・演習・実習」の 3 本柱によって行う。講義では、健康づくりに必要な基礎知識を学ぶだけに留まらず、スポーツの文化的・社会的側面を理解し、心身共に健康的で、習得した知識をオピニオン・リーダーとして社会で活かせるような態度形成や行動様式、また他者との関わりに必要な社会的スキルやコミュニケーションスキルを演習を交えながら、実践的に学習する。また実習では、日常生活の中で個人や集団で身近に親しめるスキルを獲得するために、ニュー・コンセプト・スポーツを取り入れ、個人の体力や年齢、技術レベルに応じたスポーツの楽しみ方とそれを表現できる能力を養う。

**【キーワード】** ウェルネス、生涯スポーツ、スポーツの多面性

#### 【到達目標】

1. “ウェルネスとは何か?”, またその必要性を理解する。
2. 健康づくりやスポーツ振興にかかわる社会的問題とその解決方法を理解する。
3. 自らが主体的となり、個人のレベルに応じたスポーツを享受できるようになる。
4. 他者や集団と積極的にかかわり、楽しみ場を演出し、コーディネートできるようになる。
5. 健康づくりやスポーツを日常生活で実践し、豊かな人生を過ごすとする積極的な姿勢を身につける。

**【授業の計画】** 1. ガイダンス 2. (講義) 不健康の経済学とところとからの健康: 洞喝からウェルネスへ 3. (講義) 科学的トレーニングとその方法: 体力と健康の関連について 4. (実習) ニューコンセプトスポーツを楽しむ: バウンドテニス 5. (実習) ニューコンセプトスポーツを楽しむ: ソフトバレーボール 6. (実習) ニューコンセプトスポーツを楽しむ: 参加者・状況に応じたルールで楽しむスポーツ 7. (演習) 積極的に他者とかかわるためには?: アイスブレーキングの技術とコミュニケーションスキルの獲得 8. (講義) スポーツ享受能力を高める: “スポーツビジネス” を考える 9. (実習) フライングディスクのすすめ: スローとキャッチの基礎技術 10. (実習) フライングディスクのすすめ: 1枚で楽しめるフライングディスクの世界を体験する 11. (実習) フライングディスクのすすめ: さらなる技術の向上をめざして(スロー・ラン・キャッチによるドリル) 12. (実習) フライングディスクのすすめ: 究極のfrisbee(アルティメット) 13. (講義) 我が国のスポーツ環境を考える: 地域スポーツクラブのすすめ 14. (講義) スポーツ享受能力を高める: ボランティアのすすめ 15. 期末試験 16. 授業の総括

**【教科書】** 基本的に使用せず、随時プリントを配布する。

**【成績評価の方法】** 授業への参加意欲、他者との積極的なかかわりや集団内での協調性、授業内でのプレゼンテーション、そして試験を総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** これから歩む人生と健康、またはライフスタイルとの関わりについて自らが考え、積極的な姿勢で授業に取り組む、学生の受講を希望する。体調には充分配慮し、授業に臨むこと。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180656>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 長積 (3118-1, 088-656-7286, nagazumi@ias.tokushima-u.ac.jp)  
(オフィスアワー: 授業開講時間外に随時対応する)

#### 4) 【基盤形成科目群】 (Category of Formative Skills Subjects)

##### 基盤英語

基盤英語 ... (夜間主 ((建機電)1)) / 阿部 / 前期 水 13・14	16
基盤英語 ... (夜間主 ((建電)1)) / 三浦 / 前期 火 11・12	16
基盤英語 ... (夜間主 ((化生知)1)) / 魚崎 / 前期 火 11・12	16
基盤英語 ... (夜間主 ((化生知)1 機 2)) / 米原 / 前期 水 13・14	16

##### 主題別英語

主題別英語 ... (夜間主 ((建化生知)2, 夜間主 3・4)) / 三浦 / 前期 火 13・14	16
--	----

##### 発信型英語

発信型英語 ... (夜間主 (建 2 機 3, 夜間主 3・4)) / パトリック / 前期 火 13・14	17
発信型英語 ... (夜間主 ((化電知)2, 夜間主 3・4)) / ギュンター / 前期 火 13・14	17

##### ドイツ語入門

ドイツ語入門 ... (夜間主 (夜間主)) / 依岡 / 前期 水 13・14	18
--	----

##### ドイツ語初級

ドイツ語初級 ... (夜間主 (夜間主 2・3・4)) / ヘルベルト / 前期 火 13・14	18
---	----

##### 情報科学

情報科学入門 ... (夜間主 (建機化生電)) / 松浦 / 前期 木 11・12	19
--	----

## 4.1 《英語》(English)

### 英語(English)

基盤英語  
Basic English

(夜間主((建機電)1)  
阿部 曜子・非常勤講師

1 単位 前期 水 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『基盤英語』)  
(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(1)』)

**【授業の目的】** TOEIC 受験に必要と思われるヴォキャブラリーの習得を目指しながら、同時にリスニング・リーディングの基本的な力、文法の基礎を身につける。

**【授業の概要】** TOEIC に頻出する語彙の定着・強化を中心に、実際の新 TOEIC に準じた、リスニング・文法・リーディング問題を解いていく。その他、映画に関する情報や音楽なども取り入れ、英語や英語文化圏への関心を高め、知識を広げていくような工夫をしたい。

**【到達目標】**

1. TOEIC 受験に必要と思われるヴォキャブラリーの習得を目指す
2. リスニング・リーディングの基本的な力、文法の基礎を身につける。

**【授業の計画】** 1. Class Guidance & Warm-Up Lesson 2. Lesson 1 3. Lesson 2 4. Review 5. Lesson 3 6. Lesson 4 7. Review 8. 中間テスト 9. Lesson 5 10. Lesson 6 11. Review 12. Lesson 7 13. Lesson 8 14. Lesson 9 15. 期末テスト 16. 総括

**【教科書】** 新 TOEIC テスト全パート対応:ヴォキャブラリー徹底演習

**【成績評価の方法】** 小テスト、中間テスト、期末テストを中心に授業への取り組みなどの状況を加味して総合的に判断する。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者のメッセージ】** ひとつひとつの積み重ねを大事にしていきましょう。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185597>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 阿部 . (オフィスアワー: yokoabe@shikoku-u.ac.jp)

### 英語(English)

基盤英語  
Basic English

(夜間主((建電)1)  
三浦 博・非常勤講師

1 単位 前期 火 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『基盤英語』)  
(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(1)』)

**【授業の目的】** TOEIC の受験対策

**【授業の概要】** 毎回の授業でなされること、(1) Listening の小テスト (2) その日のテキストに出てくる英単語・熟語の小テスト (3) TOEIC 受験のための問題集の学習

**【到達目標】** TOEIC 得点 600 以上を目指す。

**【授業の計画】** 1. 授業内容の紹介 2. (Unit 1) Daily Life (品詞の違い・広告を読む) 3. (Unit 2) Places (カード・通知を読む) 4. (Unit 3) People (代名詞・図表とメモを読む) 5. (Unit 4) Travel (メッセージと手紙を読む) 6. (Unit 5) Business (動詞の形・通知、メモを読む) 7. (Unit 6) Office (手紙を読む) 8. (Unit 7) Technology (語彙関係・メモと概要を読む) 9. (Unit 8) Personnel (記事を読む(1)) 10. (Unit 9) Management (接続詞・通知を読む) 11. (Unit 10) Purchasing (レシートを読む) 12. (Unit 11) Finances (時制・レシビを読む) 13. (Unit 12) Media (記事を読む(2)) 14. Health (FAX を読む) 15. 学期末試験 16. 総括授業

**【教科書】**

◇ 石井正仁・萩原一郎著 『Hyper Listening (Intermediate)』 桐原書店 630 円

◇ 水本 篤(他)著 『SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC TEST 2 (Goal 600)』 桐原書店 1600 円+税

**【成績評価の方法】** Listening Test(15%)+ 英単・熟語小テスト(15%)+ エッセー(20%)+ 期末試験(50%)

**【再試験の有無】** 有

**【受講者のメッセージ】** 授業には毎回出席してほしい。また、毎回 Listening の小テスト(家庭学習用 CD 付き)および英単・熟語小テストをするので、これらに関しても予習した方が良い点がとれると思う。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180786>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 三浦 . (オフィスアワー: 非常勤講師控室またはshomachi43211@yahoo.co.jpまで)

### 英語(English)

基盤英語  
Basic English

(夜間主((化生知)1)  
魚崎 典子・非常勤講師/全学共通教育センター

1 単位 前期 火 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『基盤英語』)  
(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(1)』)

**【授業の目的】** 歌を通して英語を総合的に学習する。

**【授業の概要】** ポピュラーソングを鑑賞して歌詞を理解し、歌について書かれたエッセイ文を読んだり、リスニング行い、リーディング力、リスニング力の向上を目指します。適宜課題や小テストが課せられます。また TOEIC 直前にはリハーサルをする予定です。

**【到達目標】**

1. 平易な英文が読めるようになる。
2. 会話でよく使われる表現の聞き取りができるようになる。
3. 英米文化への理解を深める。

**【授業の計画】** 1. Introduction 2. Material World 3. Closer to Home/I'm Your Captain 4. High School 5. No Fun 6. Leader of the Pack 7. I'm Eighteen 8. Search and Destroy 9. Frozen 10. TOEIC TEST REHEARSAL 11. Shakin' Street 12. We're an American Band 13. Bohemian Like You 14. A Whiter Shade of Pale 15. 期末試験 16. 総括

**【教科書】** THE LYRICS AND BACKGROUND OF 15 HIT SONGS/MICHAEL R. MOSHER. 魚崎典子(松柏社)

**【成績評価の方法】** 小テスト、レポート、学期末試験、授業への貢献度を総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者のメッセージ】** 日頃から英語の歌に親しみましょう。学期末試験は、授業時間数の 3 分の 2 以上出席していなければ受験資格を失うので注意すること!

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180731>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 魚崎 . (オフィスアワー: 初回の授業でお知らせします。)

### 英語(English)

基盤英語  
Basic English

(夜間主((化生知)1 機 2)  
米原 晶子・非常勤講師

1 単位 前期 水 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『基盤英語』)

(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(1)』)

**【授業の目的】** 英語の実用的運用能力をはかる客観式テスト TOEIC(Test of English for International Communication) の受験の準備を目的とする。

**【授業の概要】** TOEIC の問題集を解いていく。リスニング問題、リーディング問題ともに各自が事前学習をして来ることが前提で、教室は答え合わせと解説の場とする。またビデオで簡単な日常会話・旅行会話の慣用表現も学習する。

**【キーワード】** TOEIC, 語彙

**【到達目標】**

1. TOEIC 問題パターンに慣れる。
2. TOEIC に出てくる語彙、特にビジネス系の語句に習熟する。
3. TOEIC にでてくるビジネス文書に慣れる。

**【授業の計画】** 1. ガイダンス 2. Unit 1 3. Unit 2 4. Unit 3 5. Unit 4 6. Unit 5 7. Unit 6 8. Unit 7 9. Unit 8 10. Unit 9 11. Unit 10 12. Unit 11 13. Unit 12 14. Unit 13 15. 期末試験 16. まとめ

**【教科書】** 西田晴美他 『Power Charge for the TOEIC Test』(2009) 金星堂 1950 円

**【成績評価の方法】** 学期末試験、予習状況、中間試験などにより総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者のメッセージ】** 必ず予習をして来て下さい。CD 付きテキストですから、リスニング問題は何度でも分かるまで聞いて解答してみてください。TOEIC はとにかく忙しい試験で、時間勝負で慣れが必要です。平素のリスニングやボキャビルも欠かせません。ラジオ語学講座は有効です。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185659>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 米原 . (オフィスアワー: 非常勤講師控室または メールで)

### 英語(English)

主題別英語  
Thematic English

(夜間主((建化生知)2, 夜間主 3・4)  
三浦 博・非常勤講師

1 単位 前期 火 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『主題別英語』)

(平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(2)』)

**【授業の目的】** Listening, Reading, Speaking, Writing の向上を目指す。異文化理解、文化の多様性について理解を深める。

**【授業の概要】** 毎回の授業でなされること、(1) Listening の小テストをする。(2) 英文のテキストを読む。(3) 英語での問いかけに英語で答える練習をする。さらに毎回ではないが、テキストに出てくる英単語、熟語の小テストをする。

**【到達目標】**

1. 英語で問われることを英語で答えることができるようになる。
2. 英語の Listening に慣れ、異和感なく Spoken English を聞けるようになる。
3. Essay(エッセイ)の書き方を習い、エッセイ(小論文、レポート)が英語で書けるようになる。(前期を通じて2回程度 Essay(エッセイ)を書き提出してもらう。)
4. 英文読解力の向上。

**【授業の計画】** 1. 授業内容の紹介 2. (Unit 1) Identity 3. (Unit 2) Values 4. (Unit 3) Culture Shock 5. (Unit 4) Culture in Language 6. (Unit 5) Body Language and Customs 7. Essay Writing (エッセイの書き方) 8. (Unit 6) Individualism 9. (Unit 7) Politeness 10. (Unit 8) Communication Styles 11. (Unit 9) Gender and Culture 12. (Unit 10) Diversity 13. (Unit 11) Social Change 14. (Unit 12) Global Community 15. 学期末試験 16. 総括授業

**【教科書】**

- ◇ 石井正仁・萩原一郎著 『Hyper Listening (Intermediate)』 桐原書店 630円
- ◇ Joseph Shaules(他)著 『Identity』 Oxford University Press, 2400円

**【成績評価の方法】** Listening Test(15%)+ 英単・熟語小テスト(15%)+ エッセイ(20%)+試験(50%)

**【再試験の有無】** 有

**【受講者へのメッセージ】** 教科書は英語だけで書かれたものを使うので予習が必要だと思えます。また、毎回 Listening の小テスト(家庭学習用 CD 付き)をするのでこれらについても予習をしておくとうれしいと思えます。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185661>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 三浦 (オフィスアワー: 非常勤講師控室またはshomachi43211@yahoo.co.jpまで)

**英語 (English)**

**発信型英語**

Communicative English

(夜間主(建2機3,夜間主3・4))

パトリックジェフ・非常勤講師  
2単位 前期 火 13・14

(平成19年度以前の授業科目:『発信型英語』)

(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『英語(2)』)

**【授業の目的】** いろいろな環境で基礎的な英語の使い方を教えること。語彙、聴解、読解、文法を練習すること。生徒の人数や態度によってできるだけ英会話を練習したい。

**【授業の概要】** 話題:紹介・物と場所の特徴・習慣・人の特徴・天気・家族・行事・町・買物・国々・臭味・感情 文法:be 動詞・代名詞・現在進行形・形容詞・前置詞・単数・複数・現時系・未来系・時間

**【到達目標】**

1. 教科書・プリントなどを使って英語を練習する。
2. できるだけ英語を話させる。
3. 毎週、短い作文を宿題として書かせる。

**【授業の計画】** 1. 講義:疑問視、短い返事、代名詞宿題:自己紹介 2. 講義:疑問詞、時間の前置詞宿題:職場、意見の教え方、日課 3. 講義:指示詞話題:値段、好き嫌い、比較、買い物 4. 講義:所有代名詞、天気宿題:天気の作文 5. 講義:現在進行形、限定詞宿題:家族 6. 講義:how、副詞宿題:スポーツ、運動 7. 講義:不規則動詞、過去形宿題:連休、趣味 8. 講義:there、不可算名詞宿題:近所、店 9. 講義:人のことの説明、性格宿題:人の特徴、顔 10. 講義:計画の作り方宿題:おもしろい体験 11. 講義:副詞、形容詞、接続詞宿題:国々、町の特徴 12. 講義:can, could, may 宿題:健康 13. 講義:注文の仕方話題:レストラン、食べ物 14. 講義:比較形、最上形宿題:地理、環境 15. 期末試験 16. 総括授業

**【教科書】** 題名:New Interchange Student's Book 1 著者:Jack C. Richards 出版社:Cambridge University Press

**【成績評価の方法】** 作文・態度・期末試験

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** 英会話の心の準備をしてください。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180820>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ パトリック (オフィスアワー: jeffreypatrick@aol.com)

**【備考】** 旧カリキュラムでは授業科目:英語(2)

**英語 (English)**

**発信型英語**

Communicative English

(夜間主((化電知)2,夜間主3・4))

ギョウターディルク・非常勤講師  
2単位 前期 火 13・14

(平成19年度以前の授業科目:『発信型英語』)

(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『英語(2)』)

**【授業の目的】** 英語のコミュニケーション能力を高める。

**【授業の概要】** ペア練習と(グループ)プレゼンテーションを通じて基本的な文法を復習し、日常生活会話能力を高める。

**【キーワード】** 現代英語、コミュニケーション、外国文化

**【到達目標】**

1. 英語で話しをしたり英語を聞くことに対する抵抗感を無くす。
2. 英語を使う自信を高める。

**【授業の計画】** 1. オリエンテーション 2. "Getting To Know You"

3. 単語ミニテスト "Giving Advice 1"
4. 単語ミニテスト "Giving Advice 2"
5. 単語ミニテスト "Planning An Event 1"
6. 単語ミニテスト "Planning An Event 2"
7. 単語ミニテスト "Meeting A Star"
8. 中間テスト 9. "Just Talk 1"
10. "Just Talk 2"
11. 単語ミニテスト "Describing Situations 1"
12. 単語ミニテスト "Describing Situations 2"
13. 単語ミニテスト "Dialogue"
14. 単語ミニテスト "歌の聞き取り"
15. 期末テスト 16. 総括授業 ※参加する人数やクラスのレベルによっては上記の内容が変更されることもあります。

**【成績評価の方法】** (ア)単語ミニテスト、(イ)中間テスト、(ウ)期末テスト、(エ)授業への積極的な参加、(オ)出席。単位取得のためには(ア)~(オ)の全ての分野で最低60点を取る必要があります。(ア~オ)の中で60点より少ない点数があった場合には不合格です。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** 英語は「ただの勉強しなければならない事」ではなく、言葉通り「世界への扉」です。授業によく参加して、遠慮せずに身に付けた英語を使ったら、その扉を開けることができます。教室でお会いするのを楽しみにしています。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185569>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ ギョウター (オフィスアワー: 毎週授業のすぐあと(または、希望により他の時間にも))

⇒ 連絡は学務課教育支援係(kykyotuk@jim.tokushima-u.ac.jp)まで

## 4.2 《ドイツ語》 (German)

⇒ 徳島大学総合科学部, 人間社会学科, 人文科学講座, 656-7145, wolf@ias.tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー: 火曜日 15.30h-17.00h ヘルベルト研究室 (総合科学部1号館2階))

【備考】◇ドイツ語, 本気の人歓迎, 一緒に楽しく勉強しましょう, ◇旧カリキュラムでは授業科目:ドイツ語 (2)

### ドイツ語 (German)

#### ドイツ語入門

Introductory German

(夜間主 (夜間主))

依岡 隆児 教授

1 単位 前期 水 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『ドイツ語入門』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『ドイツ語 (1)』)

【授業の目的】初級文法を習得しながら, 簡単なドイツ語を読み, 書き, 聞き, 話すことができるようになること. また, ドイツ語圏の文化や社会についての知識を深めること.

【授業の概要】基本的な, 読む, 聞く, 話す, 書くという技能を, 初歩的な文法事項に絞ってドリル形式で練習しながら, 自然とドイツ語が身につくようする. また, 授業の合い間にドイツの映画やビデオを見せ, ドイツの文化や社会への興味を喚起し, 国際人としての教養を身につけられるように配慮する.

【キーワード】外国語, ドイツ語, 異文化理解, 比較文化

【到達目標】初級ドイツ語を使って, 簡単な文書を読み, 旅行に行き困らない程度のコミュニケーション能力を養うことと, ドイツ語圏の文化についての理解を深めること.

【授業の計画】1. 授業ガイダンス 2. アルファベット, 発音, ビデオ鑑賞 (板東収容所) 3. 1 課, 規則動詞の現在人称変化 4. 同上, ドリル問題 5. 2 課, 名詞の性と冠詞, ビデオ (ライン河) 6. 同上, sein, haben 7. 3 課, 名詞の格, 定冠詞・不定冠詞の格変化, 複数形 8. 同上, ドリル練習 9. 4 課, 不規則動詞, 前置詞 10. 中間テスト 11. 5 課, 冠詞グループ, 人称代名詞 12. 同上, ドリル問題 13. 6 課, 形容詞の格変化, 比較 14. 復習 15. 期末試験 16. 総括授業, ビデオ鑑賞

【教科書】大谷弘道『新・問いかけるドイツ語』(三修社)

【成績評価の方法】出席と授業への積極的な参加と適宜行うレポートや小テスト, 最後に行う期末試験により, 総合的に行う.

【再試験の有無】有

【受講者のメッセージ】初めて習う外国語なので, 授業に集中し, 反復・継続を心がけてもらいたい. 外国語の習得を通して, 現代の世界へ目を開くようにしてもらいたい.

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185534>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 依岡 (1308, 088-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 火曜日12時~12時50分)

【備考】ドイツ語を通して新しい世界に触れ, 自分たちの世界を見直すようにしてください. 楽しく, そして, 根気よく!

### ドイツ語 (German)

#### ドイツ語初級

Elementary German

(夜間主 (夜間主 2・3・4))

ヘルベルト ウォルフガング 講師/総合科学部

1 単位 前期 火 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『ドイツ語初級』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『ドイツ語 (2)』)

【授業の目的】これまで学んだドイツ語のレベルアップ. 外国語を習得するため必要な四つの能力, 話す, 聞く, 読む, 書くをどうとに鍛錬し, よりの確なドイツ語の表現を身につける. ドイツ語圏の文化と人々についての理解を深める.

【授業の概要】ドイツ語会話を通して, ドイツ語圏での文化, 習慣, 考え方, ライフスタイルなども紹介します. 日常的に使う文, 章, 言い回しを中心にペアや小グループで会話練習したり, 文法問題を解いたり, 聞き取り練習をしたり, 簡単な作, 文を作ったりします.

【到達目標】ドイツ語の日常的な会話と簡単な文章の読み書きが出来るようになること. ドイツ語圏の文化と事情にふれる.

【授業の計画】1. オリエンテーション, 外国語の学び方について, 辞書などの使い方 2. 挨拶, 自己紹介, 職業, 勉強, 専門についての会話 3. 国名, 都市, アルファベット, 発音, ナンバープレートゲーム 4. 数詞, ドイツ語で電話をする 5. 家族, 親類, 目的確 6. 事務所の設備, 仕事, アルバイトについて 7. 趣味, 不規則動詞の現在人称変化 8. 余暇, 週末の過ごし方について, 小テスト 9. 旅に出る, ホテルで 10. 駅, 空港で, 時刻表の読み方 11. レストランでの大事な表現 12. 食事, 飲み物の話, ドイツ, オーストリーの喫茶店 13. 外出, 約束すると関係ある表現 14. ドイツ, オーストリー料理について 15. 定期試験 16. 纏めと質疑応答

【教科書】プリントを配布する.

【成績評価の方法】学期末試験, 小テスト, 宿題, 出席, 授業への取り組み状況をもとにして総合的に評価する.

【再試験の有無】無

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181215>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

### 4.3 《情報科学》 (Information Science)

---

#### 情報科学 (Information Science)

##### 情報科学入門

(夜間主 (建機化生電))

##### Introduction to Information Science

松浦 健二・助教/高度情報化基盤センター  
2 単位 前期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目:『情報科学』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『情報科学』)

**【授業の目的】** コンピュータを用いた情報処理技術の習得を目的とする学生を対象とする。学習・研究に役立つコンピュータ利用法の基礎技術 (情報処理や表現方法) の習得を目指す。

**【授業の概要】** 1. コンピュータを扱う上での情報リテラシーを習得する。2. コンピュータの基礎知識と基礎的な使い方を身につける。3. 基礎的なアプリケーション・ソフトの使い方を身につける。4. ネットワーク下でのパソコンの統合的な情報の取り扱い方法を学習する。

**【キーワード】** 情報リテラシー、セキュリティ、情報化社会

**【到達目標】** 現代社会において必須の情報技術であるネットワーク・パーソナルコンピュータの基礎的な利用・応用ができる。

**【授業の計画】** 1. ガイダンス、教室、施設、パソコン周辺機器の利用法 2. 情報社会と情報倫理 3. WWW ブラウザソフト・電子メールの利用者登録と利用法基礎 4. レポートの作成方法について (ワードをつかった文章作成) 5. 表計算ソフトの演習 (表作成) 6. 表計算ソフトの演習 (グラフ作成) 7. 表計算ソフトの演習 (データ処理) 8. データベースソフトの基礎 (概念・基本設計) 9. データベースソフトの基礎 (データベース・テーブル作成) 10. データベースソフト (SQL 概念) 11. データベースソフト (SQL 演習) 12. 情報の表現方法に関する学習 (HTML 基礎) 13. 情報の表現方法に関する学習 (HTML 演習) 14. 情報の表現方法に関する学習 (プレゼンテーション準備) 15. 情報の表現方法に関する学習 (プレゼンテーション演習) 16. 総括授業

**【教科書】** 「情報科学入門-ソフト操作編-」 学術図書出版社 1700 円

**【参考書等】** マイクロソフトオフィス 2003 の利用に役立つ文献ならどれでも可

**【成績評価の方法】** 毎週のレポート提出状況と授業への取り組みから総合的に成績判断を行う。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** コンピュータの扱いに慣れていない学生を対象に講義・演習を行う。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181029>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 松浦 (院生棟 506, [matsuura@ait.tokushima-u.ac.jp](mailto:matsuura@ait.tokushima-u.ac.jp)) (オフィスアワー: 月~ 木8:30-9:30, 高度情報化基盤センター506室)





## 5) 【基礎科目群】 (Category of Basic Science Subjects)

### 基礎数学

線形代数学 I ... (夜間主 (夜間主 1))/守安/前期 火 13・14.....	22
微分積分学 I ... (夜間主 (夜間主 1))/長町/前期 水 11・12.....	22

### 基礎物理学

基礎物理学 f・力学 ... (夜間主 (夜間主))/川崎/前期 木 13・14.....	23
---	----

## 5.1 《基礎数学》 (Basic Mathematics)

### 基礎数学 (Basic Mathematics)

#### 線形代数学 I

Linear Algebra 1

(夜間主 (夜間主 1))

守安 一峰 教授

2 単位 前期 火 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『基礎数学』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『基礎数学』)

**【授業の目的】** 今や線形代数学は、工学や社会科学の広い分野で大きな役割を演じている。また、微分積分学と並んで数学やその応用の研究を志す人にとって車の車輪の如く基本的な学問分野である。本講義では、数学の基礎的教養の一翼を担う線形代数学それ自体の実体的、構造的、法則的理解を目指すと同時に数理科学の基礎的手法の修得を目指す。

**【授業の概要】** 高校の代数幾何学で学習した 2 次元の行列、行列式の性質を一般の  $n$  次元に拡張し、行列やその演算の持つ性質、行列式、連立 1 次方程式の一般論などについて講義する。

**【キーワード】** 行列、連立 1 次方程式、行列式、数ベクトル空間

**【到達目標】** 行列、行列式に関する基本的な計算方法を習得し、連立 1 次方程式の解法に応用できる。

**【授業の計画】** 1. 授業ガイダンス 2. 数と行列 3. 行列の演算 (1) 4. 行列の演算 (2) 5. 行列の  $m$  乗 6. 行列の基本変形と階数 7. 行列の基本変形と逆行列 8. 連立 1 次方程式 (1) 9. 連立 1 次方程式 (2) 10. 行列式 11. 行列式の性質 12. 行列式の展開と応用 13. 数ベクトル空間 (1) 14. 数ベクトル空間 (2) 15. 期末試験 16. 総括授業

**【教科書】** 教科書: 守安一峰・小野公輔著 『理工系の線形代数学入門』サイエンス社

**【参考書等】**

- ◇ 裕野敏博・加藤芳文著 『理工系の基礎線形代数学』 学術図書出版社
- ◇ 戸田暢茂 『基礎線形代数学』 学術図書出版社

**【成績評価の方法】** 出席、小テスト、レポートなどと、期末試験により総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 有。ただし、本試験や授業への取り組み状況によっては、再試験を受けられない場合がある。

**【受講者へのメッセージ】** 講義中は集中して講義内容の理解に努め、自宅で十分な復習を行ってください。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180904>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 守安 (1222, 088-656-7220, moriyasu@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 水曜日 17時~18時 守安研究室(総合科学部1号館2階))

### 基礎数学 (Basic Mathematics)

#### 微分積分学 I

Calculus 1

(夜間主 (夜間主 1))

長町 重昭 教授/工学部

2 単位 前期 水 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『基礎数学』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『基礎数学』)

**【授業の目的】** 近年の工学諸分野の発展は、微分積分学の単なる形式的応用能力にとどまらず、基礎概念をしっかりと把握すること、を要求するようになってきている。本講義では、高校で履修した数学と密接な関係を保ちつつ、1 変数関数の微分学の、基礎事項の理解を深め、さらに、2 変数関数の微分の取り扱いに習熟することを目的としている。

**【授業の概要】** 微分積分学の基礎になっている極限の概念からはじめて、基本的な初等関数の導関数やテイラー展開について講義する。さらに 2 変数関数については、偏微分と全微分及び偏微分法の基本的な公式とその応用を講義する。

**【到達目標】**

1. 極限の厳密な取り扱いが理解できる。
2. 簡単な 1 変数関数に対してテイラー展開ができる。
3. 簡単な 2 変数関数に対して偏微分ができる。
4. 偏微分法の基本的な公式が使える。

**【授業の計画】** 1. 数列の極限 2. 関数の極限 3. 連続関数の性質 4. 微分法の基本公式 5. 基本的な初等関数の導関数 6. 平均値の定理 7. テイラーの定理 8. 平面の位相と 2 変数関数 9. 2 変数の連続関数 10. 偏微分係数 11. 全微分 12. 偏微分法の基本公式 13. 2 変数関数のテイラー展開 14. 偏微分法の応用 15. 前期テスト 16. 総括授業

**【教科書】**

- ◇ 教科書: 大原一孝著 『実例で学ぶ微分積分』 学術図書出版
- ◇ 参考書: 伊東由文著 『解析学 (上)』 サイエンスハウス

**【成績評価の方法】** テストを実施する

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** 特になし

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180883>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 長町 (A 棟 205, 088-656-7554, shigeaki@pm.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 特になし)

## 5.2 《基礎物理学》 (Basic Physics)

---

### 基礎物理学 (Basic Physics)

基礎物理学 f・力学  
Mechanics

(夜間主 (夜間主))  
川崎 祐 講師/工学部

2 単位 前期 木 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『基礎物理学』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『基礎物理学』)

**【授業の目的】** 学部における専門教育を理解する上で必要になる基礎的な力学的知識およびその考え方を習得するとともに、応用能力を身に付けることを目的とする。基礎的な力学現象を中心にそれらの数学的記述を理解することを目的とする。

**【授業の概要】** 質点の運動におけるニュートンの運動法則の数学的記述を示し、基本的な力学現象にそれを適用することにより、その運動を理解する。次いで、運動量、力学的エネルギー、角運動量の保存則を概観する。

**【キーワード】** ニュートンの運動法則、力学的エネルギー、運動量、角運動量

#### **【到達目標】**

1. 力という抽象的概念及びニュートンの運動方程式を理解する
2. 仕事、運動エネルギー、保存力とポテンシャルエネルギーの関係、及び力学的エネルギーの保存則について理解する
3. 運動量とその保存則、また回転運動を角運動量、トルクという物理量で捉える方法について理解する

**【授業の計画】** 1. はじめに、測定 2. 直線運動 3. ベクトル 4. 2次元と3次元の運動 5. 力と運動 I 6. 力と運動 II 7. 運動エネルギーと仕事 8. ポテンシャルエネルギーとエネルギー保存 9. 粒子系 10. 衝突 11. 回転 12. 転がり、トルク、角運動量 13. 演習 14. 演習 15. 期末試験 16. 総括

**【教科書】** D. ハリディほか 物理学の基礎 [I] 力学 (培風館)

**【参考書等】** R.A. サウエイ 科学者と技術者のための物理学 Ia 力学・波動 (学術図書)

**【成績評価の方法】** 期末試験、授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** 公式を暗記するのではなく、力やエネルギーという抽象的概念を理解することが肝心である。教科書には独習できるように、丁寧に書かれた本を選定している。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180927>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 川崎 (A 棟 217, 088-656-9878, yu@pm.tokushima-u.ac.jp)



## 6) 【学部が開放する授業題目】 (Subjects offered by Faculties)

### 自然と技術

(工) 機械工学概論 ... (夜間主 (機)) / 機械工学科教員 / 前期 月 13・14.....	26
--	----

---

**自然と技術 (Science and Technology)**

(工) 機械工学概論

Outline of Mechanical Engineering

(夜間主(機))

機械工学科教員

2 単位 前期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『自然と技術』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『学部開放科目』)

**【授業の目的】** この講義では、機械工学のもつ総合的な特性を通して、理系および文系の学生に現代社会における機械工学が果たす役割について理解してもらう。

**【授業の概要】** 機械工学の役割はエネルギー機器から精密・情報機器、半導体生産設備、食品加工機などの企画、開発、設計、生産と非常に幅広く、機械工学は多くの技術、工学を融合したものである。この機械工学の発展の歴史、現在の課題、未来への展望などを各教官の専門分野の話題を通して講義する。

**【キーワード】** 機械科学、機械システム、知能機械、生産システム

**【到達目標】** 機械工学を通して、機械工学の現代社会における役割を理解し、総合的な判断能力を養うことを目標とする。

**【授業の計画】** 1. 機械を構成する部材に生じる変形と力の係わり 2. 材料の微視構造と新材料の開発動向 3. 機械の破壊の仕組みと防止方法 4. 流体エネルギーの利用について 5. 流れの中の物体に働く揚力と抗力 6. 熱エネルギーの利用について 7. 機械振動の制御 8. 自動制御の歴史 9. ロボット工学の将来 10. 加工と生産システムの歴史 11. X 線による応力測定 12. 計測とデータ処理 13. 超精密機械としての分光器の原理と性能および応用分野 14. エンジンにおける代替燃料の利用 15. レポート指導と総括

**【教科書】**

◇ 教科書:使わない

◇ 参考書:各週の講義では OHP 等で具体的な説明があり、テーマごとにプリント等が参考資料として配布される。参考書は、講義の中で随時紹介する。

**【成績評価の方法】** 各テーマの講義について、毎回、レポートの提出が義務付けられる。このレポートの提出と講義への取組みを総合して評価する。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** 機械工学に関心をもつ者への導入教育科目の一つとして位置づけているので、機械工学科の学生は必ず受講するように希望する。レポートの様式・内容・提出のきまり(場所・期日)は、各回の講義時間に連絡される。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180979>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 高木(M620, 088-656-7359, takagi@me.tokushima-u.ac.jp)

## 第2章

## 後期





後期

## 1) 【教養科目群】 (Category of General Education Subjects)

### 人間と生命

認知哲学 …(夜間主 (夜間主))/山口/後期 木 11・12 ..... 30

### 生活と社会

変革の理論の諸類型 …(夜間主 (夜間主))/吉田/後期 月 13・14 ..... 31

財政学入門 …(夜間主 (夜間主))/石田/後期 月 13・14 ..... 31

### 自然と技術

防災のための地球科学 …(夜間主 (夜間主))/西山/後期 木 11・12 ..... 32

## 1.1 《人間と生命》 (Humanity and Life)

---

### 人間と生命 (Humanity and Life)

認知哲学

Philosophy of mind

(夜間主 (夜間主))

山口 裕之 准教授

2 単位 後期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『人間と生命』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『哲学』)

【授業の目的】 脳と心の関係をめぐる科学や哲学の議論を学ぶ。

【授業の概要】 近年、脳や神経細胞の活動を計測する技術の開発やコンピュータの進歩を背景に、「脳についての科学」や「意識についての科学」の研究が大きな成果を上げつつある。しかしその一方で、心や意識をそう簡単に「脳」と同一視してもよいのかという「哲学的」な疑問もまた根強い。この本では、そうした「意識の科学」の研究を概観し、「哲学」の立場から、心と脳の間をめぐら諸問題について考えたい。

【キーワード】 科学と哲学、心理学と哲学、哲学、言語、脳

【関連科目】 『人間と生命/生命倫理学研究』(0.3)

【到達目標】 コンピュータの仕組み、脳の仕組みの基本を知り、心とは何かという問題について考えるきっかけをつかむ。

【授業の計画】 1. イントロダクション:心身問題 2. 科学的に理解するとはどのようなことか 3. 心をコンピュータにたとえる 1 4. 同上, 2 5. 同上, 3 6. 同上, 4(第一回小テストないしレポート) 7. 心の仕組みと脳の仕組み 1(小テストないしレポートの解説) 8. 同上, 2 9. 同上, 3 10. 同上, 4(第二回小テストないしレポート) 11. 決定論と自由意志 1(小テストないしレポートの解説) 12. 同上, 2 13. 同上, 3 14. 同上, 4(第三回小テストないしレポート) 15. まとめ, 小テストないしレポートの解説, 期末レポートの解説

【教科書】 山口裕之『認知哲学』新曜社 (予定)

【参考書等】 授業中に適宜紹介する。

【成績評価の方法】 毎回授業終了時に書いてもらう「一言カード」で授業への取り組みを評価 (計 30 点)。学期中 3 回の小テストないしレポート (計 45 点)。学期末のレポート (25 点)。なお、6 回以上の欠席は自動的に不可、30 分以上の遅刻は欠席とみなす。学期末レポートの未提出は「試験欠席」として扱う。

【再試験の有無】 なし。

【受講者へのメッセージ】 授業は、基本的に、毎回教科書の 2~3 章分程度を読んできてもらい、それに対する質問や疑問を軸に進めたいと思います。そのために、教科書をよく読み、自らいろいろなことを考え、積極的に質問し、疑問をぶつけてほしい。また、教科書だけでなく、授業で紹介したものをはじめ、多くの本を読んでほしい。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181247>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 山口 (総合科学部 1 号館南棟 2F, 088-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 火曜10:30-11:30)

## 1.2 《生活と社会》 (Living and Society)

### 生活と社会 (Living and Society)

#### 変革の理論の諸類型

(夜間主(夜間主))

Types of the Theories on the Revolution

吉田浩・教授

2単位 後期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『社会学』)

【授業の目的】 変革の理論というもの、既存の社会を固定的、硬直的に捉えるのではなく、それを乗り越えて、新たな可能性のある社会、新しい展望を切り開く社会の創造をめざすものであって、それだけに変革の理論というものは我々にとり魅力があり、興味の尽きないものである。しかしながら現実には様々な類型の変革の理論が存在しており、人々を盲動に導きかねないような理論もある。様々な変革の諸理論を比較・対照して検討しながら、どの変革の理論が多くの人々に展望と希望を与えるものであるかを考えていく。

【授業の概要】 M・ウェーバーの「カリスマ革命論」、そして「外部からの革命論」と、マルクスが『資本論』で展開している変革の理論とを比較・対照させていきたいのだが、そのためにシュムペーターの「創造的破壊」といういま一つの変革の理論を両者の間に導入して、それぞれの変革の理論の特徴と問題点、またどの変革の理論が将来に対して確実に切実な展望を与えるものであるかを考察していく。

【キーワード】 カリスマ革命、外部からの革命、創造的破壊、生産革命、弁証法

【到達目標】 変革の理論といっても、人々を盲動に導きかねない危険な理論もあるし、多くの人々に力強い展望と希望を与える理論もある。科学はこの点の区別をいかにしえるか、このことを学ぶ。

【授業の計画】 1. 初めに 2. 三類の変革理論の同一性と差異性(一) 3. 同上 4. 三類の変革理論の同一性と差異性(二) 5. 同上 6. シュムペーターにおける「一定条件に制約された経済の循環」 7. 同上 8. シュムペーターにおける「革新の経済学」 9. 同上 10. ウェーバーにおける「内部からの革命」としてのカリスマ革命論 11. 同上 12. ウェーバーにおける「外部からの革命」と利潤問題 13. マルクスにおける変革理論 14. 同上 15. 試験 16. 総括授業

【教科書】 吉田浩著『ウェーバーの社会理論と意味・価値問題』(晃洋書房 2007) の第 4 章。ただし本書は高価 (3300 円+税) であるので、購買できない者にはコピーをわたす。

【参考書等】 吉田浩著『ウェーバーとヘーゲル、マルクス』(文理閣, 2005 年)

【成績評価の方法】 試験と講義内容に対する疑問、問題点を指摘する小レポートとによって総合的に評価する。疑問、問題点の指摘に対しては講義で答える

【再試験の有無】 可

【受講者のメッセージ】 少々難解でも、旺盛な知的関心をもってくらしいつてくる学生諸君を歓迎する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181074>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 吉田浩(2240, 088-656-7198, メールアドレス yoshida@ias.tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー: 月曜日12時~13時, 吉田浩研究室(総合科学部1号館南棟2階)))

### 生活と社会 (Living and Society)

#### 財政学入門

(夜間主(夜間主))

Introduction to Public Finance

石田和之・准教授

2単位 後期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『経済学』)

【授業の目的】 わが国の財政の現状を理解する。財政学の初歩的な理解を得る。

【授業の概要】 わが国の財政の現状を紹介し、財政学の初歩を講じる。財政学は、国や地方公共団体の財源をいかにしてコントロールするかを考える学問である。財政学の対象は税や借金、政策評価、社会保障など幅広い。この講義では、最近注目されているトピックや受講生諸君の関心の高と思われるテーマ(具体的には、下記の講義計画を参照されたい)を中心に講義を行う。これらのテーマがなぜ関心を集めているのか、財政学的にはどのように分析・評価することができるのかを解説する。通常、財政学といえば国の財政を扱うことが多い。しかし、この講義では、国に限定せず、地方(都道府県や市町村)の財政についても扱う予定である。

【キーワード】 税、分権、財政政策、予算、政府

【関連科目】 『生活と社会/財政制度入門』(1.0)

【到達目標】

1. わが国の財政の現状を理解する
2. 財政学の基礎を理解する

【授業の計画】 1. わが国の財政状況:国民負担、債務残高、分権改革 2. 国と地方の役割分担:政府の役割 3. 国と地方の財政関係:予算制度、政府間財政関係 4. 税制のあり方:租税原則、地方税原則、基幹税、政策税制 5. 政府の規模:リバイアサン政府、慈悲深い政府、政府の競争 6. 行財政改革 7. 所得税 8. 中間試験 9. 法人税:地方法人課税、税源の偏在、 10. 消費税:付加価値税、消費課税 11. 資産課税:固定資産税、相続・贈与税 12. 国と地方の借金 13. 医療と年金:社会保障 14. 景気対策手段としての財政:財政政策 15. 定期試験 16. 総括授業

【教科書】 講義中に適宜紹介する

【参考書等】 講義中に適宜紹介する

【成績評価の方法】 定期試験 60%、中間試験 30%、その他 10%

【再試験の有無】 なし

【WEB 頁】 <http://www.geocities.jp/zaiseigakulab/>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181096>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 石田和之(総合科学部)1号館2階財政学研究室:088-656-7169-k-ishida@ias.tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー: 月曜日5:6講時)

### 1.3 《自然と技術》 (Science and Technology)

#### 自然と技術 (Science and Technology)

防災のための地球科学

(夜間主 (夜間主))

Earth Sciences for Disaster Prevention

西山 賢一 准教授

2 単位 後期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『地学』)

**【授業の目的】** 日本列島はプレートが沈み込む変動帯に位置しているため、地震や火山による災害を受けやすい。また、地形が急峻で平地が少なく、しかも湿潤多雨な気候環境下にあるため、台風や豪雨による災害も多い。日本列島に多発する災害を考える上で基礎となる地球科学の知識を講義するとともに、具体的な防災の方法を考えていく。

**【授業の概要】** 災害科学の基礎となる地球科学の知識を学びながら、地震災害、火山災害、土砂災害、洪水災害について理解を深める。また、防災情報やハザードマップ (災害予測図) の活用法についても学ぶ。

**【キーワード】** 災害地質学、地球科学、自然災害

**【到達目標】** 自然災害のしくみを理解するとともに、その知識を防災のために活用できるようになる。

**【授業の計画】** 1. 自然災害とは何か? 2. 自然災害の実例を学ぶ (地震・火山・土砂・洪水) 3. 地震の特徴・被害・予測 4. 過去に発生した地震災害の実例 (関東大震災、阪神大震災) 5. 過去に発生した津波災害の実例 (スマトラ地震津波) 6. 火山の特徴・被害・予測 7. 過去に発生した火山災害の実例 (雲仙普賢岳噴火) 8. 過去に発生した火山災害の実例 (フィリピン・ピナツボ巨大噴火) 9. 土砂崩れで作られた日本の山地 10. 過去に発生した土砂災害の実例 (2004 年台風災害ほか) 11. 洪水で作られた日本の平野 12. 過去に発生した洪水災害の実例 (2004 年台風災害ほか) 13. 防災・気象情報の活用法 14. 災害予測図 (ハザードマップ) 15. 試験 16. 総括授業

**【教科書】** 教科書: 指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

**【参考書等】** 参考書: 「自然災害を読む」岩波書店、「自然の猛威」岩波書店、「日本の地震災害」岩波新書、「Q&A 火山噴火」講談社ブルーバックス、「土石流災害」岩波新書、「災害に出会うとき」朝日新聞社

**【成績評価の方法】** 期末試験と出席状況 (小テスト) を総合的に判断して評価する。

**【再試験の有無】** 再試験あり

**【受講者へのメッセージ】** パワーポイントやビデオなどを使う場合があります。遅刻・欠席をしないこと。積極的にノートをとること。

**【WEB 頁】** <http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/tigaku/index.htm>

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181027>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 西山 (総科 3 号館 2S05, 088-656-7239, [nisiyama@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:nisiyama@ias.tokushima-u.ac.jp)) (オフィスアワー: 月曜日 12~13 時)

## 2) 【社会性形成科目群】 (Category of Social Communication Subjects)

### 共創型学習

宇宙を探る ... (夜間主 (夜間主)) / 伏見・田村 / 後期 月 13・14 ..... 34

## 2.1 《共創型学習》 (Creativity Development)

### 共創型学習 (Creativity Development)

#### 宇宙を探る

(夜間主 (夜間主))

Introduction to Astronomical Observation

伏見 賢一 准教授

田村 貞夫 非常勤講師 / 全学共通教育センター

2 単位 後期 月 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

**【授業の目的】** 宇宙の観測を体験して、現代の科学技術との関連を実感する。宇宙を観測する方法は対象によってさまざまである。はじめにいろいろな天体とその観測方法について紹介する。その後いくつかの観測方法によって宇宙の探求を実践する。

**【授業の概要】** 1. 天体とは、宇宙の広がりについて 2. 宇宙観測の方法 3. 宇宙観測の実践 (下記のどれかを実践する) 3-1. 天体望遠鏡による観測 (写真・CCD 観測など) 3-2. 望遠鏡を使わない観測 (写真・ビデオ観測など) 3-3. 電波などによる観測

**【キーワード】** 宇宙, 天体観測, 写真撮影・画像処理

**【関連科目】** 『自然と技術/宇宙物理学入門』(0.5)

**【授業の計画】** 1. ガイダンス 2. 天体の階層 (講義) 3. 参考文献購読 4. 参考文献購読・解説 5. いろいろな天体観測の方法 (歴史) 6. いろいろな天体観測の方法 (最新技術の紹介) 7. 天体観測 I 8. 天体観測 II 9. 解説・中間報告 10. 天体観測 III 11. 天体観測 VI 12. 解説・中間報告 13. 天体観測 V 14. 天体観測 VI 15. 解説・報告会 16. 発表会

**【参考書等】** 天文ガイド (伏見教員室に常備しているものを適宜貸与することができる)

**【成績評価の方法】** 授業及び観測の実施状況に応じて評価する。中間報告のレポート及び発表会の発表で評価する。

**【受講者へのメッセージ】** 天体観測は屋外で夜間に実施します。冬季なので非常に寒くなることが予想されますので、温かい服装を用意してください。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185555>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 伏見 (総合科学部 3 号館 1N01, 088-656-7238, kfushimi@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 平日の 11:50-12:50)

### 3) 【基盤形成科目群】 (Category of Formative Skills Subjects)

#### 主題別英語

主題別英語 ... (夜間主 ((建機電)1))/三浦/後期 火 11・12.....	36
主題別英語 ... (夜間主 ((建機電)1,(建機)2, 夜間主 3・4))/米原/後期 水 13・14.....	36
主題別英語 ... (夜間主 ((化生知)1))/魚崎/後期 火 11・12.....	36
主題別英語 ... (夜間主 ((化生知)1))/阿部/後期 水 13・14.....	36

#### 発信型英語

発信型英語 ... (夜間主 (建 2 機 3, 夜間主 3))/ギュンター/後期 火 13・14.....	37
発信型英語 ... (夜間主 ((化知)2, 夜間主 3))/パトリック/後期 火 13・14.....	37

#### ドイツ語入門

ドイツ語入門 ... (夜間主 (夜間主))/依岡/後期 水 13・14.....	38
---	----

#### ドイツ語初級

ドイツ語初級 ... (夜間主 (夜間主 2・3・4))/ヘルベルト/後期 火 13・14.....	38
--	----

### 3.1 《英語》 (English)

**英語 (English)**  
**主題別英語** (夜間主 ((建機電)1))  
 Thematic English 三浦博・非常勤講師  
 1 単位 後期 火 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『主題別英語』)  
 (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『英語 (2)』)

**【授業の目的】** 英語の 4 技能 (読む・書く・聴く・話す) の能力の育成を目標とする。コミュニケーションに必要な基本的構文の習得を目指す。日常の会話ができるようにするとともに、英語を通して言語や異文化への関心を高める。

**【授業の概要】** 授業はテキストに沿って進められる。毎回の授業で Listening の小テストをする。また毎回ではないがテキストに出てくる英単・熟語の小テストをする。

**【到達目標】**  
 1. 英語の Listening に慣れ、違和感なく Spoken English を聴けるようになる。  
 2. Essay (エッセイ) の書き方を習い、エッセイ (小論文・レポート) が書けるようになる。  
 3. 英文読解力の向上。

**【授業の計画】** 1. 授業内容の紹介 2. Looking for Something New 3. Off We Go: Here We Are! 4. Hotel or Resort? 5. Now We Are International Students 6. Essay (小論文・レポート) の書き方 7. Hiromi's Home stay Family 8. Comparing First Impressions 9. Yukiko's Dormitory Life 10. Hiromi finds an Apartment 11. Outing with Other International Students 12. Holiday Season 13. Hey! We Learned a Lot 14. Tears in Eyes 15. 学期末試験 16. 総括授業

**【教科書】**  
 ◇ 桐原書店編集部 『Hyper Listening (Intermediate)』 桐原書店 630 円  
 ◇ 行時 潔 / Daniel Droukis 著 『Experience an English Program (語学留学に行こう!)』 松柏社 1900 円+ 税

**【成績評価の方法】** Listening Test (15%) + 英単・熟語小テスト (15%) + エッセイ (20%) + 試験 (50%)

**【再試験の有無】** 有

**【受講者へのメッセージ】** 授業には毎回出席してほしい。また、毎回 Listening の小テスト (家庭学習用 CD 付き) および英単・熟語小テストをすることでこれらに関しても予習したほうが良い点がとれると思う。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185662>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**  
 ⇒ 三浦 . (オフィスアワー: 非常勤講師控室またはshomachi43211@yahoo.co.jpまで)

**英語 (English)**  
**主題別英語** (夜間主 ((建機電)1,(建機)2,夜間主 3・4))  
 Thematic English 米原 晶子・非常勤講師  
 1 単位 後期 水 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『主題別英語』)  
 (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『英語 (2)』)

**【授業の目的】** DVD を素材にして自然なスピードの英語の聞き取りに慣れること、また慣用表現を学習することを目的とする。

**【授業の概要】** DVD を視聴しながら、テキストに沿って聞き取り、単語の確認、内容理解、背景の説明を行う。授業の最初には、毎週その時に内外で報じられている時事英語の読解も行う。

**【キーワード】** 映画、リスニング、慣用表現

**【到達目標】**  
 1. 自然なスピードの英語の聞き取りに慣れる。  
 2. 様々な場面での英語の慣用表現に習熟する。  
 3. 社会的、文化的背景についての理解を深める。

**【授業の計画】** 1. 授業の説明 2. Unit 1 3. Unit 2 4. Unit 3 5. Unit 4 6. Unit 5 7. Unit 6 8. Unit 7 9. Unit 8 10. Unit 9 11. Unit 10 12. Unit 11 13. Unit 12 14. Discussion 15. 期末試験 16. まとめ

**【教科書】** 穂本浩美他 『American History in Focus』 (2005) マクミランランゲージハウス 2100 円

**【成績評価の方法】** 学期末試験、予習状況、レポートまたは中間試験などにより総合的に評価する

**【再試験の有無】** 有

**【受講者へのメッセージ】** 素材がドラマなので楽しく勉強したいとおもいます。普段からラジオ講座等でリスニング力をつけておいて下さい。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180704>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**  
 ⇒ 米原 . (オフィスアワー: 非常勤講師控室またはメールで)

**英語 (English)**  
**主題別英語** (夜間主 ((化生知)1))  
 Thematic English 魚崎 典子・非常勤講師/全学共通教育センター  
 1 単位 後期 火 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『主題別英語』)  
 (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『英語 (2)』)

**【授業の目的】** 自然な音声英語の聞き取り能力を向上させると同時にことばの文化的背景への理解を深め、更に自らのコミュニケーション能力を向上させることを目的とする。

**【授業の概要】** 映画“HARRY POTTER”シリーズを観てシナリオを読み、リーディング能力及びリスニング能力の向上をはかります。適宜課題や小テストが課せられます。

**【到達目標】**  
 1. 自然なスピードで話された音声英語の聞き取りができる。  
 2. 会話文がスムーズに読める。

**【授業の計画】** 1. INTRODUCTION 2. Aunt Marge 3. LEAKY CAULDRON 4. Welcome to Another Year at Hogwarts 5. Boggart & Hogsmeads Days 6. You Could Teach Me 7. The Marauder's Map 8. Shrieking Shack 9. Time-Turner 10. Quidditch World Cup 11. The Triwizard Tournament 12. The Champion Selection 13. Horntail 14. Harry Vs. Horntail 15. 期末試験 16. 総括

**【教科書】** 使用しない。随時プリント等を配布する。参考書は適宜紹介する。

**【成績評価の方法】** 小テスト、レポート、学期末試験、授業への貢献度を総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者へのメッセージ】** リスニング上達のコツはとにかくたくさん聞くことです。日頃からいろいろな英語をよく聞くように心掛けて下さい。学期末試験は、授業時間数の 3 分の 2 以上出席していなければ受験資格を失うので注意すること!

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180669>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**  
 ⇒ 魚崎 . (オフィスアワー: 初回の授業でお知らせします。)

**英語 (English)**  
**主題別英語** (夜間主 ((化生知)1))  
 Thematic English 阿部 曜子・非常勤講師  
 1 単位 後期 水 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『主題別英語』)  
 (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『英語 (2)』)

**【授業の目的】** マライア・キャリー、セリーヌ・ディオンのポップミュージックを題材に、リスニング力を高め、英語や英語文化圏への関心を深めるとともに、「読む」「聴く」「話す」「書く」の 4 技能の向上、さらに文法知識や語彙の強化を目指す。

**【授業の概要】** まず英語の曲を聴き取ることから始め音声変化 (脱落、連結、同化 など) を学び、次に TOEIC 形式のリスニング問題を聞き、続いてその歌や歌手についてのエピソードや、異文化トピックを扱った文章を読むことなどを通じて、既習文法事項の確認、基本的読解力の強化を図る。またその他、広告 や告知文などの多様な英文を教材として随時使用し、TOEIC のリーディング セクションの受験対策も行う。

**【キーワード】** ポップ・ミュージック、リスニング、TOEIC

**【到達目標】**  
 1. 親しみのある音楽を通して、英語や英語圏の文化・社会についての知識を深める。  
 2. 基本的なリスニング力とリーディング力を習得する。

**【授業の計画】** 1. Introduction 2. My Heart Will Go On (Celine Dion) 3. Open Arms (Journey) 4. Reading skill for the TOEIC 5. Don't Look Back in Anger (Oasis) 6. Livin'La Vita Loca (Ricky Martin) 7. Reading skill for the TOEIC 8. 中間テスト 9. I Don't Want Miss A Thing (Aerosmith) 10. Every Time I Close My Eyes (Babyface) 11. Reading skill for the TOEIC 12. The Stranger (Billy Joel) 13. Christmas Songs 14. Reading skill for the TOEIC 15. 期末テスト 16. 総括

**【教科書】** English with Hit Songs (成美堂)

**【成績評価の方法】** 授業への取り組み、中間テスト、期末テストにより総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者へのメッセージ】** 教材プリントを随時配付するので、各自しっかり保存しておくこと。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180659>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**  
 ⇒ 阿部 . (オフィスアワー: E-mail yokoabe@shikoku-u.ac.jp)



英語 (English)

発信型英語  
Communicative English

(夜間主 (建 2 機 3, 夜間主 3))  
ギョウターディルク・非常勤講師  
2 単位 後期 火 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『発信型英語』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『英語 (2)』)

- 【授業の目的】** 英語のコミュニケーション能力を高める。  
**【授業の概要】** ペア練習と (グループ) プレゼンテーションを通じて基本的な文法を復習し、日常生活会話能力を高める。  
**【キーワード】** 現代英語, コミュニケーション, 外国文化

- 【到達目標】**  
1. 英語で話しをしたり英語を聞くことに対する抵抗感を無くす。  
2. 英語を使う自信を高める。  
**【授業の計画】** 1. オリエンテーション 2. "Getting To Know You"  
3. 単語ミニテスト "Giving Advice 1" 4. 単語ミニテスト "Giving Advice 2" 5. 単語ミニテスト "Planning An Event 1" 6. 単語ミニテスト "Planning An Event 2" 7. 単語ミニテスト "Meeting A Star" 8. 中間テスト 9. "Just Talk 1" 10. "Just Talk 2" 11. 単語ミニテスト "Describing Situations 1" 12. 単語ミニテスト "Describing Situations 2" 13. 単語ミニテスト "Dialogue" 14. 単語ミニテスト "歌の聞き取り" 15. 期末テスト 16. 総括授業 ※参加する人数やクラスのレベルによっては上記の内容が変更されることもあります。

**【成績評価の方法】** (ア) 単語ミニテスト, (イ) 中間テスト, (ウ) 期末テスト, (エ) 授業への積極的な参加・(英語での 5 分程度のプレゼンテーション), (オ) 出席。単位取得のためには (ア)~(オ) の全ての分野で最低 60 点を取る事が必要です。(ア~オ) の中で 60 点より少ない点数があった場合には不合格です。

**【再試験の有無】** 無  
**【受講者のNote-3】** 英語は"ただの勉強しなければならない事"ではなく、言葉通り「世界への扉」です。授業によく参加して、遠慮せずに身に付けた英語を使ったら、その扉を開けることができます。教室でお会いするのを楽しみにしています。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180794>  
**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**  
⇒ ギョウター。(オフィスアワー: 毎週授業のすぐあと(または、希望により他の時間にも)連絡は学務課教育支援係まで(kykyotuk@jim.tokushima-u.ac.jp))

英語 (English)

発信型英語  
Communicative English

(夜間主 ((化知)2, 夜間主 3))  
パトリックジェフ・非常勤講師  
2 単位 後期 火 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『発信型英語』)  
(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『英語 (2)』)

- 【授業の目的】** いろいろな環境で基礎的な英語の使い方を教えること。語彙、聴解、読解、文法を練習すること。生徒の人数や態度によってできるだけ英会話を練習したい。  
**【授業の概要】** 話題:紹介・物と場所の特徴・習慣・人の特徴・天気・家族・行事・町・買物・国々・臭味・感情 文法:be 動詞・代名詞・現在進行形・形容詞・前置詞・単数-複数・現時系・未来系・時間

- 【到達目標】**  
1. 教科書・プリントなどを使って英語を練習する。  
2. できるだけ英語を話させる。  
3. 毎週、短い作文を宿題として書かせる。  
**【授業の計画】** 1. 講義:疑問視, 短い返事, 代名詞宿題:自己紹介 2. 講義:疑問詞, 時間の前置詞宿題:職場, 意見の教え方, 日課 3. 講義:指示詞話題:値段, 好き嫌い, 比較, 買い物 4. 講義:所有代名詞, 天気宿題:天気の作文 5. 講義:現在進行形, 限定詞宿題:家族 6. 講義:how, 副詞宿題:スポーツ, 運動 7. 講義:不規則動詞, 過去形宿題:連休, 趣味 8. 講義:there, 不可算名詞宿題:近所, 店 9. 講義:人のことの説明, 性格宿題:人の特徴, 顔 10. 講義:計画の作り方宿題:おもしろい体験 11. 講義:副詞, 形容詞, 接続詞宿題:国々, 町の特徴 12. 講義:can, could, may 宿題:健康 13. 講義:注文の仕方話題:レストラン, 食べ物 14. 講義:比較形, 最上形宿題:地理, 環境 15. 期末試験 16. 総括授業

**【教科書】** 題名:New Interchange Student's Book 1 著者:Jack C. Richards  
出版社:Cambridge University Press  
**【成績評価の方法】** 作文・態度・期末試験  
**【再試験の有無】** 無  
**【受講者のNote-3】** 英会話の心の準備をしてください。  
**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180821>  
**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**  
⇒ パトリック。(オフィスアワー: jeffreypatrick@aol.com)  
**【備考】** 旧カリキュラムでは授業科目:英語 (2)

### 3.2 《ドイツ語》 (German)

⇒ ヘルベルト (088-656-7145, wolf@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 火曜日 15.30h-17.00h ヘルベルト研究室 (総合科学部1号館中棟2階))

【備考】◇旧カリキュラムでは授業科目:ドイツ語 (2) ◇ドイツ語, 本気の人歓迎.

**ドイツ語 (German)**  
**ドイツ語入門** (夜間主 (夜間主))  
 Introductory German 依岡 隆児 教授  
 1 単位 後期 水 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『ドイツ語入門』)  
 (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『ドイツ語 (1)』)

【授業の目的】初級文法を習得しながら, 簡単なドイツ語を読み, 書き, 聞き, 話すことができるようになること. また, ドイツ語圏の文化や社会についての知識を深めること.

【授業の概要】基本的な, 読む, 聞く, 話す, 書くという技能を, 初歩的な文法事項に絞ってドリル形式で練習しながら, 自然とドイツ語が身につくようする. また, 授業の合い間にドイツの映画やビデオを見せ, ドイツの文化や社会への興味を喚起し, 国際人としての教養を身につけられるように配慮する.

【キーワード】外国語, ドイツ語, 異文化理解, 比較文化

【到達目標】初級ドイツ語を使って, 簡単な文書を読み, 旅行に行つて困らない程度のコミュニケーション能力を養うこと, ドイツ語圏の文化についての理解を深めること.

【授業の計画】1. 授業ガイダンス, 前期の復習 2. 7 課, 話法の助動詞, 分離動詞, ビデオ鑑賞 (ドイツ人がやってくる) 3. 同上, ドリル問題 4. 8 課, 動詞の 3 基本形, 過去形, ビデオ「環境先進国ドイツ」 5. 同上, ドリル 6. 9 課, 現在完了, 映画「第 3 の男」 7. 同上, ドリル 8. 10 課, 受動, 再帰動詞, 映画「黒い稲妻」 9. 同上, ドリル 10. 中間テスト 11. 11 課, zu 不定詞, 映画「モモ」 12. 12 課, 関係代名詞 13. 13 課, 命令形, 疑問代名詞 14. 復習 15. 期末試験 16. 総括授業

【教科書】大谷弘道『新・問いかけるドイツ語』(三修社)

【成績評価の方法】出席と授業への積極的な参加と適宜行うレポートや小テスト, 最後に行う期末試験により, 総合的に行う.

【再試験の有無】有

【受講者のメッセージ】初めて習う外国語なので, 授業に集中し, 反復・継続を心がけてもらいたい, 外国語の習得を通して, 現代の世界へ目を開くようにしてもらいたい.

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185535>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 依岡 (1308, 088-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 火曜日12時~12時50分)

【備考】ドイツ語を通して新しい世界に触れ, 自分たちの世界を見直すようにしてください. 楽しく, そして, 根気よく!

**ドイツ語 (German)**  
**ドイツ語初級** (夜間主 (夜間主 2・3・4))  
 Elementary German ヘルベルト ウォルフガング 講師/総合科学部  
 1 単位 後期 火 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目:『ドイツ語初級』)  
 (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『ドイツ語 (2)』)

【授業の目的】これまで学んだドイツ語のレベルアップ. 外国語を習得するため必要な四つの能力, 話す, 聞く, 読む, 書くをどうとうに鍛錬し, よりの確なドイツ語の表現を身につける. ドイツ語圏の文化と人々についての理解を深める.

【授業の概要】ドイツ語会話を通して, ドイツ語圏での文化, 習慣, 考え方, ライフスタイルなども紹介します. 日常的に使う文, 章, 言い回しを中心にペアや小グループで会話練習したり, 文法問題を解いたり, 聞き取り練習をしたり, 簡単な作, 文を作ったりします.

【到達目標】話す, 聞く, 読む, 書く, 基礎的なドイツ語の能力を身につける.

【授業の計画】1. オリエンテーション, 前期の復習 2. 持ち物, 指示代名詞, 不定代名詞, 否定代名詞の 4 格 3. 品物の感想, 形容詞 4. 住居, 部屋, 所有冠詞 5. 部屋, 家具の位置, 前置詞 6. 時刻と日付, 一日の生活, 分離動詞 1 7. 曜日, 月, 誕生日, 大学の年間予定, 分離動詞 2 8. 大学, 道案内 1, 副詞 (場所) 命令形, 小テスト 9. 交通手段, ドイツの大学, 前置詞 (方向) 10. 地図の読み方, 道案内 2 11. 休暇の計画 (活動, 場著, 期間, 同伴者) 12. 手紙の書き方, 話法の助動詞 13. 過去の表現, 天気, 季節 14. 日記, 現在完了形, ドイツ語で履歴書を書く 15. 定期試験 16. 纏めと質疑応答

【教科書】プリントを配布する.

【成績評価の方法】学期末試験, 小テスト, 出席, 宿題, 授業への取り組み状況をもとにして総合的に評価する.

【再試験の有無】無

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=181216>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

#### 4) 【基礎科目群】 (Category of Basic Science Subjects)

##### 基礎数学

線形代数学 II ... (夜間主 (夜間主 1))/守安/後期 火 13・14.....	40
微分積分学 II ... (夜間主 (夜間主 1))/長町/後期 水 11・12.....	40

## 4.1 《基礎数学》 (Basic Mathematics)

【成績評価の方法】 テストを実施する

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 特になし

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180892>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 長町 (A 棟 205, 088-656-7554, shigeaki@pm.tokushima-u.ac.jp)  
(オフィスアワー: 特になし)

### 基礎数学 (Basic Mathematics)

#### 線形代数学 II

Linear Algebra 2

(夜間主 (夜間主 1))

守安 一峰 教授

2 単位 後期 火 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『基礎数学』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『基礎数学』)

【授業の目的】 今や線形代数学は、工学や社会科学の広い分野で大きな役割を演じている。また、微分積分学と並んで数学やその応用の研究を志す人にとって車の車輪の如く基本的な学問分野である。本講義では、数学の基礎的教養の一翼を担う線形代数学それ自体の実体的、構造的、法則的理解を目指すと同時に数理学の基礎的手法の修得を目指す。

【授業の概要】 高校で学習する幾何ベクトルを拡張した  $n$  次元ベクトルとその属する線形空間の概念は、行列や行列式をより深く数学的に理解する上で必要不可欠である。特にベクトルの 1 次独立性は線形代数学の根幹をなす基本概念である。ここでは線形空間の一般論、線形写像と行列、固有値問題などについて講義する。

【キーワード】 固有値・固有空間、ジョルダン標準形、線形空間、線形写像、内積

【先行科目】 『基礎数学/線形代数学 I』 (1.0, ⇒22 頁)

【到達目標】 固有値や固有空間を求めることができ、それらを使って行列を標準化することができる。また、ベクトル空間、線形写像の概念を導入し、ベクトル、行列、行列式の理解を深める。

【授業の計画】 1. 授業ガイダンス 2. 固有値と固有ベクトル (1) 3. 固有値と固有ベクトル (2) 4. 行列の対角化 5. 行列の標準化 (1) 6. 行列の標準化 (2) 7. 線形空間 8. 1 次独立 9. 基底と次元 (1) 10. 基底と次元 (2) 11. 線形写像 (1) 12. 線形写像 (2) 13. 表現行列 (1) 14. 表現行列 (2) 15. 期末試験 16. 総括授業

【教科書】 教科書: 守安一峰・小野公輔著 『理工系の線形代数学入門』 サイエンス社

【参考書等】

- ◇ 裕野敏博・加藤芳文著 『理工系の基礎線形代数学』 学術図書出版社
- ◇ 戸田暢茂著 『基礎線形代数学』 学術図書出版社

【成績評価の方法】 出席、小テスト、レポートなどと、期末試験により総合的に評価する。

【再試験の有無】 有。ただし、本試験や授業への取り組み状況によっては、再試験を受けられない場合がある。

【受講者へのメッセージ】 講義中は集中して講義内容の理解に努め、自宅で十分な復習を行ってください。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180913>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 守安 (1222, 088-656-7220, moriyasu@ias.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 水曜日 17時~18時 守安研究室(総合科学部1号館2階))

### 基礎数学 (Basic Mathematics)

#### 微分積分学 II

Calculus 2

(夜間主 (夜間主 1))

長町 重昭 教授/工学部

2 単位 後期 水 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『基礎数学』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『基礎数学』)

【授業の目的】 近年の工学諸分野の発展は、微分積分学の単なる形式的応用能力にとどまらず、基礎概念をしっかりと把握することを要求するようになってきている。本講義では、高校で履修した数学と密接な関係を保ちつつ、1 変数関数の積分学の基礎事項の理解を深め、さらに、2 変数関数の積分の取り扱いに習熟することを目的としている。

【授業の概要】 基本的な初等関数の不定積分や定積分について講義する。さらに 2 変数関数については、2 重積分とそれの累次積分による計算法を講義する。

【到達目標】

1. 基本的な関数に対してその不定積分が求められる。
2. 簡単な 2 変数関数に対してその 2 重積分が求められる。
3. 2 重積分を利用して図形の体積や表面積が求められる。

【授業の計画】 1. 定積分 2. 定積分と不定積分 3. 不定積分の計算 4. 有理関数の不定積分 5. 無理関数の不定積分 6. 有限区間における広義積分 7. 無限区間における広義積分 8. 2 重積分 9. 累次積分 10. 積分順序の変更 11. ヤコビアン 12. 2 重積分の変数変換 13. 体積と表面積 14. 広義の 2 重積分 15. 後期テスト 16. 総括授業

【教科書】

- ◇ 教科書: 大原一孝著 『実例で学ぶ微分積分』 学術図書出版
- ◇ 参考書: 伊東由文著 『解析学 (上)』 サイエンスハウス

## 5) 【学部が開放する授業題目】 (Subjects offered by Faculties)

### 自然と技術

地域の環境と防災 ... (夜間主 (建)) / 鎌田・上月・滑川・成行・田村 / 後期 木 11・12 .....	42
(工) 生物工学概論 ... (夜間主 (生)) / 辻・松木・堀・高麗・長宗・野地・中村・宇都・間世田・友安・長浜・大内 / 後期 木 11・12 .....	42

**自然と技術 (Science and Technology)**

**地域の環境と防災**

(夜間主 (建))

**Environment and Disaster Prevention in Tokushima**

鎌田 磨人 教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

上月 康則 教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

滑川 達 准教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部, 成行 義文 教授/工学部

田村 隆雄 准教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

2 単位 後期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『学部開放科目』)

**【授業の目的】** 私たちが暮らしていく地域の「自然環境」と「防災」関心や興味をもって暮らしていけるよう、それらについての視点・考えかたについて解説する

**【授業の概要】** 私たちが安心して暮らしていくために必要な「自然環境」と「防災」について、徳島に関連深い事項を例にとりあげながら、1) 身近な自然環境の様子、2) どのようにして身近な自然環境を守ったり、修復したりしようとしているのか、3) 地震や津波への備え、4) 自然環境を保全しつつ災害にも強いまちづくりのあり方、の 4 つの観点から解説する。

**【キーワード】** 徳島, 自然環境, 防災, 地域力

**【到達目標】** 自らが暮らす地域の自然環境の保全や防災がどのように進められようとしているのかを知り、その地域の中で暮らしていく者として、地域の自然環境の保全と防災に興味と自覚を持って暮らし続けられる。

**【授業の計画】** 1. ガイダンス-足元からの安全と安心 2. 眉山の「緑」 3. マラウィ(アフリカ)の「緑」/レポート 4. 「なぜ、環境を守らないといけないの?」 5. 「放っておいてくれ!」という人にも防災は必要? 6. "50 歳のあなた"を考えた環境と防災 7. 「地域力」-ソーシャルキャピタルの視点から 1 8. 「地域力」-ソーシャルキャピタルの視点から 2 9. 「地域力」-ソーシャルキャピタルの視点から 3 / レポート 10. 地震と地震動 11. 地震による被害 12. 地震被害の予測と対策 / レポート 13. 森林の洪水低減機能の仕組みと限界 14. 森林の水質保全機能, 森-川-海の繋がり 15. 植物を使った徳島県の省エネの取り組み/レポート

**【成績評価の方法】** 到達目標の達成度は期間中に課せられる 5 回のレポートの総点 (各レポートは 20% ずつの重み) により評価し、評点が 60% 以上を当目標のクリア条件とする。

**【受講者のメッセージ】** 本科目は本学科の教育目標の 1(1) に 40%, 1(2) に 40%, 1(3) に 20% 対応する。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=185559>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 鎌田 (A306, 088-656-9134, kamada@ce.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること。)

⇒ 上月 (エコ 505, 088-656-7335, kozuki@eco.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 火曜日, 14:35 から 16:05, 18:00 から 19:30)

⇒ 滑川 (A412, 088-656-9877, namerikawa@ce.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)

⇒ 成行 (A510, 088-656-7326, nariyuki@ce.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)

⇒ 田村 (A414, 088-656-9407, tamura@ce.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 年度ごとに学科の掲示を参照すること)

**【キーワード】** バイオテクノロジー, 遺伝子, タンパク質, 微生物

**【到達目標】** 生物工学の基本的な考え方や生物工学の現状が理解できる。

**【授業の計画】** 1. 授業概要ならびに生物学大系について講述する。 2. 生体関連物質の高親膜的性質と界面現象が関与した生体コロイドについて講述する。 3. 生物活性物質分子設計の技法を学ぶメディスナルケミストリー入門: 生命の誕生と進化における合成の意味論について講述する。 4. 地球環境における物質循環の根幹を支える微生物の役割と機能について講述し、バイオテクノロジーへの応用について講述する。 5. 環境中の有害および有益微生物の制御方法に関する最近のトピックスを講述する。 6. 各種疾病治療における抗体工学やワクチン工学の応用について講述する。 7. 先端医療における生物工学の役割について講述する。 8. DNA の戦略“発生と進化のメカニズム”について講述する。 9. 生物資源の有効利用について講述する。 10. 発育鶏卵を用いた種々の薬剤評価法について講述する。 11. 抗生物質と細菌の多剤耐性機構について講述する。 12. 細菌 (バクテリア) 研究の歴史について講述する。 13. タンパク質合成と細胞および個体機能との関連について講述する。 14. 遺伝子の発現機構について講述する。 15. 微生物酵素の産業利用と機能開発について講述する。 16. 生物工学概論のまとめ

**【教科書】** 教科書は使用しない。適宜プリントを配付する。参考書は適宜紹介する。

**【成績評価の方法】** 受講態度とレポートによって評価する。

**【再試験の有無】** 無

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=180980>

**【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】**

⇒ 辻 (化生棟 710, 088-656-7526, tsuji@bio.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 月曜日 16:20-17:50)

**自然と技術 (Science and Technology)**

**(工) 生物工学概論**

(夜間主 (生))

**Outline of Biotechnology**

辻 明彦 教授/工学部, 松木 均 教授/工学部

堀 均 教授/工学部, 高麗 寛紀 教授/工学部, 長宗 秀明 教授/工学部

野地 澄晴 教授/工学部, 中村 嘉利 教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

宇都 義浩 准教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

間世田 英明 准教授/大学院ソシオテクノサイエンス研究部

友安 俊文 准教授/工学部, 長浜 正巳 准教授/工学部

大内 淑代 准教授/工学部

2 単位 後期 木 11・12

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』)

(平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『学部開放科目』)

**【授業の目的】** 生物工学 (バイオテクノロジー) は、ナノテクノロジーや情報技術 (IT) と共に 21 世紀を拓く革新技術として期待されている。特にバイオテクノロジーは、医療、環境、食糧、資源、エネルギーなどの分野に広く活用されようとしており、人類の直面する諸問題の解決に大きく寄与し、人類の福祉に貢献するものと考えられている。バイオテクノロジーを支える生命科学から応用技術にいたるまで広く浅く学び、全体として生物工学に関する知識が修得できることを目的とする。

**【授業の概要】** 生物工学科の各教員がそれぞれの専門分野を踏まえて、バイオテクノロジーの入門から最先端バイオテクノロジーまでのトピックスについてわかりやすく解説する。トピックスの内容は担当教員ごとに異なり、毎回の課題についてレポートを作成する。